



MFX-8230 / MFX-8200

MFX-5185 / V-785

MFX-5180 / V-780

取扱説明書

コピー編

第 1 章 コピーのしかた

1

第 2 章 コピー機能 (MFX-8230/MFX-8200)

2

第 3 章 コピー機能 (MFX-5185/V-785)

3

第 4 章 コピー機能 (MFX-5180/V-780)

4

第 5 章 機器設定のしかた

目次

本書の表示について	iv
安全に関する表示	iv
操作キーとボタンの表記	iv
原稿・用紙向きの表記	iv
画面について	v

第1章 コピーのしかた

コピーの前に	1-2
コピー禁止事項	1-2
原稿の自動検知について	1-3
コピー中にメモリーオーバーしたとき	1-4
基本的なコピー操作	1-5
用紙を選んでコピーする（用紙）	1-6
手差しトレイを使ってコピーする	1-7

第2章 コピー機能（MFX-8230/MFX-8200）

機能一覧	2-2
コピー機能	2-6
画質を設定する（画質）	2-6
濃度を設定する（濃度）	2-7
用紙を仕分けする（仕分け）	2-8
拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）	2-10
コピー前にイメージを確認する（仕上がりプレビュー）	2-15
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする（ページ集約）	2-17
1枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）	2-19
別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）	2-20
パンチの目印を付ける（センターマーク印字）	2-22
割り込んでコピーする	2-23
大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）	2-24
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）	2-25
両面コピーする（両面）	2-26
小冊子になるようにコピーする（小冊子）	2-28
カードの両面を1枚の用紙にコピーする（カードコピー）	2-30
2ページを1枚ずつコピーする（ページ分割）	2-32
三つ折りの目印を付ける（三つ折りマーク印字）	2-33
文字の左右を逆にコピーする（鏡像）	2-34

第3章 コピー機能（MFX-5185/V-785）

機能一覧	3-2
コピー機能	3-7
画質を設定する（画質）	3-7
濃度を設定する（濃度）	3-8
用紙を仕分けする（仕分け）	3-9

拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）	3-11
コピー前にイメージを確認する（仕上がりプレビュー）	3-16
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする（ページ集約）	3-18
1枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）	3-20
別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）	3-21
パンチの目印を付ける（センターマーク印字）	3-23
割り込んでコピーする	3-24
大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）	3-25
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）	3-26
両面コピーする（両面）	3-27
小冊子になるようにコピーする（小冊子）	3-31
カードの両面を1枚の用紙にコピーする（カードコピー）	3-33
三つ折りの目印を付ける（三つ折りマーク印字）	3-35
文字の左右を逆にコピーする（鏡像）	3-36
A3の原稿をコピーする（A3分割読取）	3-37

第4章 コピー機能（MFJ-5180/V-780）

機能一覧	4-2
コピー機能	4-6
画質を設定する（画質）	4-6
濃度を設定する（濃度）	4-7
用紙を仕分けする（仕分け）	4-8
拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）	4-10
コピー前にイメージを確認する（読取プレビュー）	4-13
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする（ページ集約）	4-15
1枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）	4-17
別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）	4-18
パンチの目印を付ける（センターマーク印字）	4-20
割り込んでコピーする	4-21
大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）	4-22
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）	4-23
両面コピーする（両面）	4-24
小冊子になるようにコピーする（小冊子）	4-28
カードの両面を1枚の用紙にコピーする（カードコピー）	4-30
A3の原稿をコピーする（A3分割読取）	4-33

第5章 機器設定のしかた

初期値を設定する	5-2
コピー機能の初期値を設定する	5-2
初期値設定一覧	5-4
リピート区切り線幅を設定する	5-7
コピー予約を設定する	5-7

本書の表示について

安全に関する表示

本書では、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に、以下のマークをつけています。

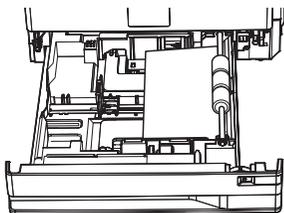
 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のある警告事項が書かれています。 安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 お願い	誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。
 補足	操作の参考情報や補足説明が書かれています。

操作キーとボタンの表記

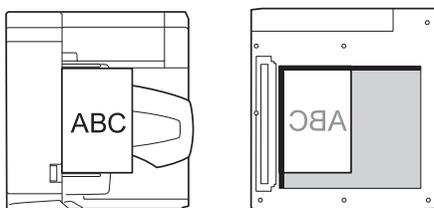
- 〈 〉 操作パネル上のキー
(例：スタートキー → 〈スタート〉)
- [] タッチパネル上のボタンやコンピューター画面上的ボタンなど
(例：画質ボタン → [画質])

原稿・用紙向き表記

 記号：用紙を機械正面から見て縦にセットすることを表します。



 記号：原稿を機械正面から見て縦にセットすることを表します。



画面について

本書の第1章、第4章、第5章では、特に断りがない限り MFX-5180 に給紙ユニットを2段装着したときの画面を使用しています。

第2章では、MFX-8230 に給紙ユニットを3段装着したときの画面を使用しています。

第3章では、MFX-5185 に給紙ユニットを2段装着したときの画面を使用しています。機種やオプションの装着によっては、画面が異なる場合があります。

(空白ページ)

第 1 章

コピーのしかた

コピーの前に	1-2
コピー禁止事項	1-2
原稿の自動検知について	1-3
コピー中にメモリーオーバーしたとき	1-4
基本的なコピー操作	1-5
用紙を選んでコピーする (用紙)	1-6
手差しトレイを使ってコピーする	1-7

コピーの前に

コピー禁止事項

本製品で何をコピーしてもよいわけではありません。
特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

□ 法律によりコピーを禁止されているもの

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
外国紙幣、証券類
未使用郵便切手、はがき類
政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

<関係法律>

- ◆ 通貨及証券模造取締法
- ◆ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- ◆ 郵便切手類模造等取締法
- ◆ 印紙等模造取締法
- ◆ 紙幣類似証券取締法

□ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

□ 注意を必要とするもの

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

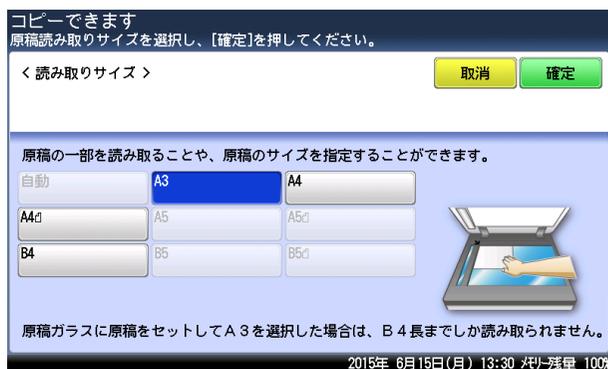
原稿の自動検知について

原稿ガラスに A4 や B5 など定形サイズの原稿をセットすると、自動でサイズが検知されます。不定形サイズの原稿をコピーする場合は、画面からコピーする用紙を選択するか、「読み取りサイズ」を押して読み取りサイズを選択してからコピーします。

補足

- この機能は、V-785 および V-780 では利用できません。
- MFX-5185 または MFX-5180 では、A3 サイズの原稿を原稿ガラスにセットしたときは、A4 原稿として検知されるので、A3 原稿をコピーしたいときは、A3 分割読み取り機能をご使用ください。(→ 3-37 ページ)

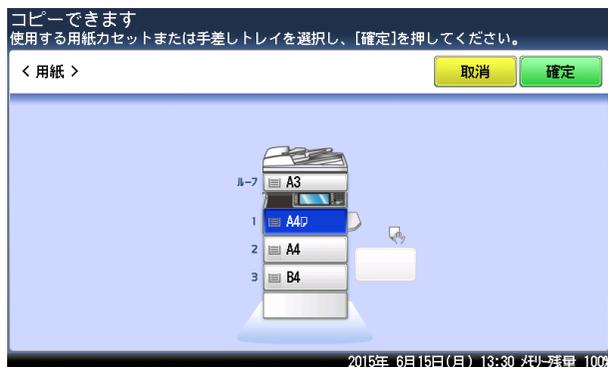
- 拡大／縮小設定が自動の場合に、原稿サイズを自動検知できなかったとき
読み取りサイズ選択画面が表示されます。読み取りサイズを選択し、「確定」を押します。



MFX-5185 または MFX-5180 で A3 原稿をコピーしたいときは、A3 分割読み取り機能をご使用ください。(→ 3-37 ページ)

- 用紙選択が自動の場合に、原稿サイズに合った適切な用紙がないとき

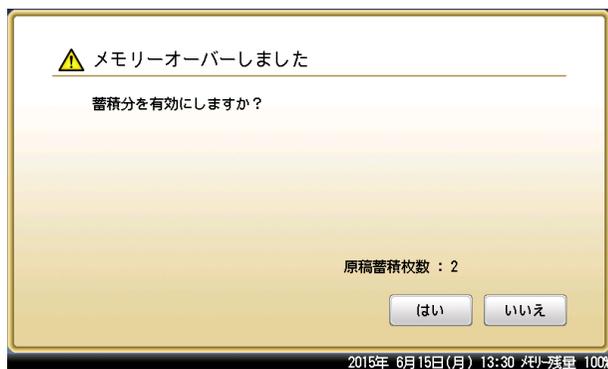
自動検知した原稿サイズに合った用紙がセットされていないときは、「自動で選択できる用紙がありません。手動で用紙を選択してください。」と表示されます。以下の画面でコピーする用紙を選択し、「確定」を押します。



倍率(拡大/縮小)を変更してコピーする場合は、「取消」を押してコピーを中止し、倍率とコピーする用紙を選択してからコピーしてください。

コピー中にメモリーオーバーしたとき

原稿蓄積中にメモリーオーバーしたときは、以下のメッセージが表示されます。



- [はい] を押すと、蓄積された原稿をコピーします。
- [いいえ] を押すと、コピーを中断します。設定を変更するか、メモリーが空くまで待つからコピーしてください。
- 何も押さずに画面自動リセット時間（初期値：3分）が経過すると、ジョブがキャンセルされます。画面自動リセット時間は変更できます。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「初期値を設定する」を参照してください。

基本的なコピー操作

ここでは、基本的なコピーのしかたを説明します。

1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。



・パネルは、MFX-5180 のイメージ図です。

2 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

3 〈スタート〉を押します。

- ・コピーを中断したいときは、〈ストップ〉を押します。
- ・現在のジョブの印刷中に、「コピー予約できます」と表示されたら、次の原稿を読み取ることができません。

1

コピーのしかた

用紙を選んでコピーする（用紙）

コピーしたい用紙を選択してコピーできます。

1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。

2 コピーする用紙を選択します。



- ・これは、MF5180 の画面です。お使いの機種、セットされている用紙サイズ、装着されているカセットなどによって、表示が異なります。
- ・[自動] を選択すると、原稿サイズと設定された倍率から適切な用紙を自動的に選択します。V-785 および V-780 でオプションの給紙カセットが装着されていないときは、[自動] は表示されません。
- ・倍率が自動に設定されている場合、用紙を自動的に設定すると、倍率は 100 % に変更されます。
- ・手差しトレイを使ってコピーする場合は、「手差しトレイを使ってコピーする」(1-7 ページ) を参照してください。
- ・MF5185 または MF5180 では、A3 サイズの原稿を原稿ガラスにセットしたときは、A4 原稿として検知されるので、A3 原稿をコピーしたいときは、A3 分割読み取り機能をご使用ください。(→ 3-37 ページ)

3 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

4 〈スタート〉を押します。

手差しトレイを使ってコピーする

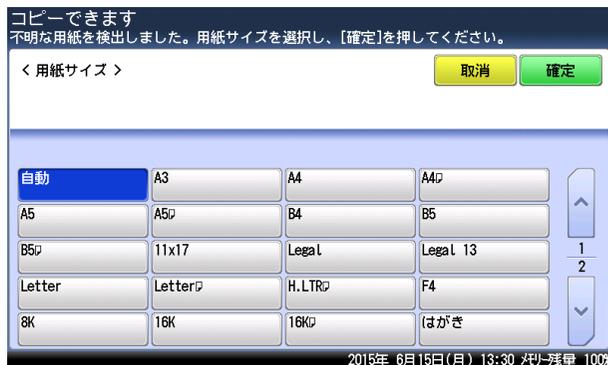
用紙カセットにセットできない用紙を手差しトレイにセットしてコピーできます。

補足

V-785 および V-780 には、手差しトレイはありません。

- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。**
 - ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
 - ・必要に応じて画質や濃度を設定します。
- 2 手差しトレイを開き、用紙をセットします。**

用紙のセットのしかたは、『基本編』の「用紙をセットする」の「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
- 3 手差しトレイの用紙が検出されなかった場合は、用紙選択画面が表示されます。用紙サイズを選択し、[確定]を押します。**



用紙サイズを設定している場合や、用紙サイズが検出されたときは、この画面は表示されません。そのまま次の手順に進みます。

- 4 テンキーでコピー部数を入力します。**

1～999部まで設定できます。
- 5 〈スタート〉を押します。**

(空白ページ)

第 2 章

コピー機能 (MFX-8230/MFX-8200)

機能一覧.....	2-2
コピー機能.....	2-6
画質を設定する (画質).....	2-6
濃度を設定する (濃度).....	2-7
用紙を仕分けする (仕分け).....	2-8
拡大/縮小コピーする (拡大/縮小).....	2-10
コピー前にイメージを確認する (仕上がりプレビュー).....	2-15
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする (ページ集約).....	2-17
1 枚の用紙に繰り返しコピーする (リピート).....	2-19
別の原稿を続けて読み取る (連続読み込み).....	2-20
パンチの目印を付ける (センターマーク印字).....	2-22
割り込んでコピーする.....	2-23
大きさの違う原稿を一緒にコピーする (ミックス原稿).....	2-24
原稿の読み取りサイズを指定する (読み取りサイズ).....	2-25
両面コピーする (両面).....	2-26
小冊子になるようにコピーする (小冊子).....	2-28
カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする (カードコピー).....	2-30
2 ページを 1 枚ずつコピーする (ページ分割).....	2-32
三つ折りの目印を付ける (三つ折りマーク印字).....	2-33
文字の左右を逆にコピーする (鏡像).....	2-34

機能一覧

MFX-8230 と MFX-8200 では、次のようなコピー機能が利用できます。

画質 (→ 2-6 ページ)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。



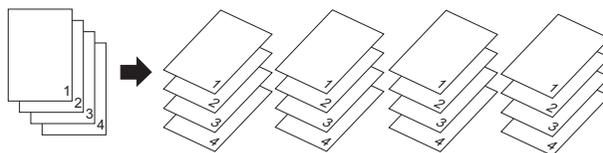
濃度 (→ 2-7 ページ)

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。



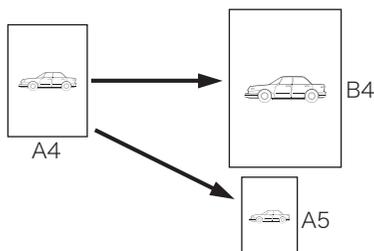
仕分け (→ 2-8 ページ)

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。



拡大/縮小 (→ 2-10 ページ)

拡大/縮小コピーには、次の4つがあります：自動倍率（用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小する方法）、固定倍率（倍率を設定して拡大/縮小する方法）、倍率指定（縦横の拡大/縮小率を指定する方法）、寸法指定（原稿と用紙のサイズを指定する方法）。

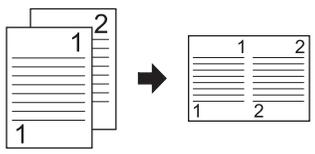


仕上がりプレビュー (→ 2-15 ページ)

用紙にコピーする前に、タッチパネル上でイメージを確認できます。

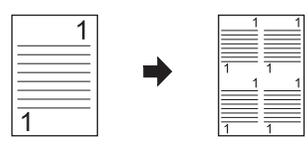
ページ集約 (→ 2-17 ページ)

2 枚、4 枚、8 枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



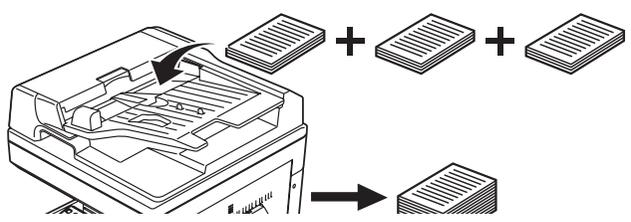
リピート (→ 2-19 ページ)

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2 回、4 回、8 回より選択できます。



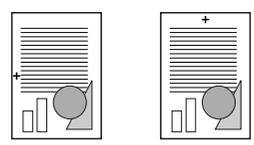
連続読み込み (→ 2-20 ページ)

原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。



センターマーク印字 (→ 2-22 ページ)

パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」をプリントできます。

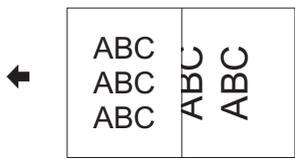


割り込み (→ 2-23 ページ)

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーできます。

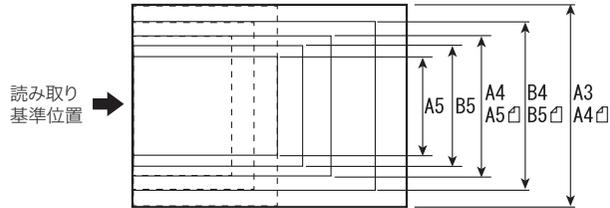
ミックス原稿 (→ 2-24 ページ)

幅が同じで長さが違う原稿 (たとえば A3 と A4) を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。



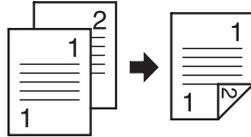
読み取りサイズ (→ 2-25 ページ)

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。



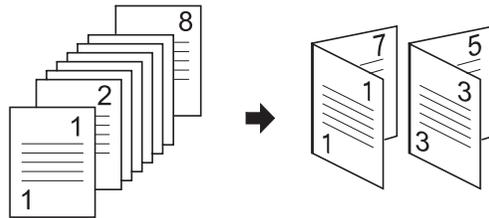
両面コピー (→ 2-26 ページ)

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。



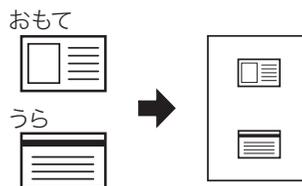
小冊子 (→ 2-28 ページ)

複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。



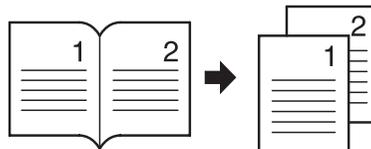
カードコピー (→ 2-30 ページ)

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズの原稿の両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。



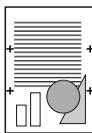
ページ分割コピー (→ 2-32 ページ)

本などの閉じた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーできます。



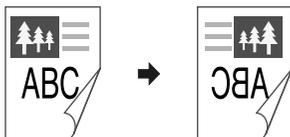
三つ折りマーク印字 (→ 2-33 ページ)

コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。



鏡像コピー (→ 2-34 ページ)

原稿のイメージを鏡に写したように左右を反転させて、コピーできます。



ジョブメモリー

よく使う設定をジョブメモリーに登録しておけば、設定のための操作の手間を省けます。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「ジョブメモリーを使用する」を参照してください。

補足

各機能には、組み合わせて設定できないものがあります。組み合わせてできない操作を行った場合の動作には、以下の2種類があります。

- あとから設定したものが優先される (先に設定したものは解除される)
- 先に設定したものが優先される (警告メッセージが表示される)

コピー機能

補足

設定をよく変更する場合は、初期値を変更しておく、設定を変更する手間が省けます。
詳細は、「初期値を設定する」(5-2 ページ) を参照してください。

画質を設定する (画質)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。

- 文字 : 文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
- 文字/写真 : 写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真 : 写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
- 背景除去 : 原稿の地模様や地色などの背景を消して読み取ります。

1 コピー待機画面で、画質を選択します。

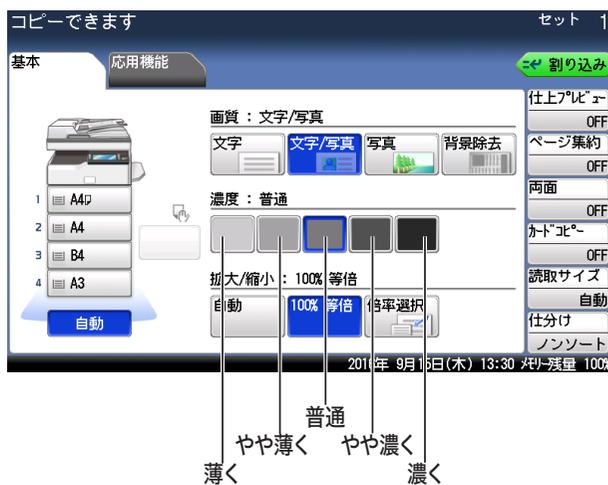


濃度を設定する（濃度）

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。

- 薄く : 薄く読み取りたいときに選択します。
- やや薄く : 普通よりもやや薄く読み取りたいときに選択します。
- 普通 : 標準の原稿を読み取りたいときに選択します。
- やや濃く : 普通よりもやや濃く読み取りたいときに選択します。
- 濃く : 濃く読み取りたいときに選択します。

1 コピー待機画面で、濃度を選択します。



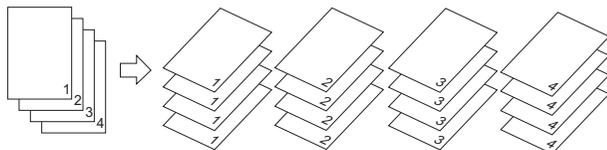
用紙を仕分けする（仕分け）

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。

A4とA4☐の用紙がセットされているときは、コピーを1部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。

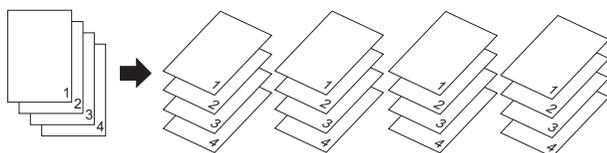
ノンソート

原稿のページごとに用紙を仕分けします。



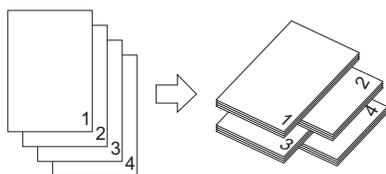
ソート

1部ごとに用紙を仕分けします。



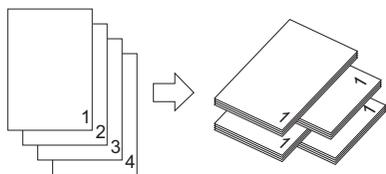
ノンソート + 回転仕分け（A4とA4☐がセットされているとき）

同じサイズの下紙をセットした場合、ページごとに向きを変えて仕分けします。



ソート + 回転仕分け（A4とA4☐がセットされているとき）

同じサイズの下紙をセットした場合、1部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。



☐補足

- 回転仕分けをするのは、A4とA4☐用紙がセットされている場合で、その用紙を使ってコピーするときだけです。
- 回転仕分けを設定するには、〈メニュー〉→[機器設定]タブ→[用紙/仕分け]→[回転仕分け]→「コピー部ごと」の順に押します。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「用紙に関する設定をする」を参照してください。

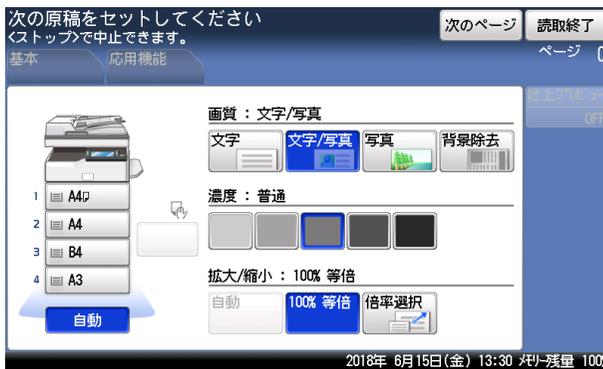
1 コピー待機画面で、[仕分け] を押します。



- ・ [仕分け] を押すたびに、[ソート] と [ノンソート] が切り替わります。
- ・ [仕分け] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[仕分け] を選択してください。
- ・ ソートを選択すると、原稿ガラスでの連続読み込みが自動で ON に設定されます。

補足

- ・ ソートを選択して原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または <スタート> を押します。



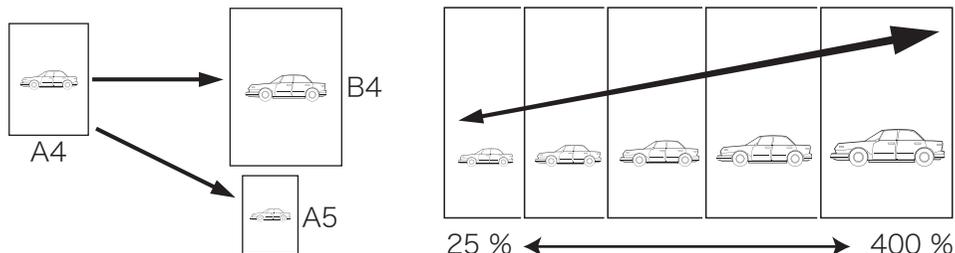
- ・ 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）

拡大／縮小コピーには、次の4つがあります：

- 自動倍率（用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法）
- 固定倍率（倍率を設定して拡大／縮小する方法）
- 倍率指定（縦横の拡大／縮小率を指定する方法）
- 寸法指定（原稿と用紙のサイズを指定する方法）

固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法があります。



□ 用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率）

指定した用紙サイズに合わせて自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーを行います。原稿サイズを自動検出できないときは、手動選択した原稿サイズで自動倍率にてコピーします。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から [自動] を押します。



□ 倍率を指定して拡大／縮小する（固定倍率）

倍率を選択して、適切な用紙にコピーを行います。

補足

- 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。
- 用紙は、倍率設定に応じて自動的に選択されます。用紙を選択したいときは、用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から【倍率選択】を押します。



2 倍率を選択し、【確定】を押します。



□ 任意の倍率でコピーする

倍率を25%～400%の範囲で、1%きざみで指定できます。

1 コピー待機画面で、「拡大/縮小」から【倍率選択】を押します。



2 倍率を設定し、【確定】を押します。



- ・[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。
- ・先に固定倍率を選択してから、倍率を調整することもできます。

補足

適切なサイズの手紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して【確定】を押してください。

□ 縦横の拡大 / 縮小率を指定する (倍率指定)

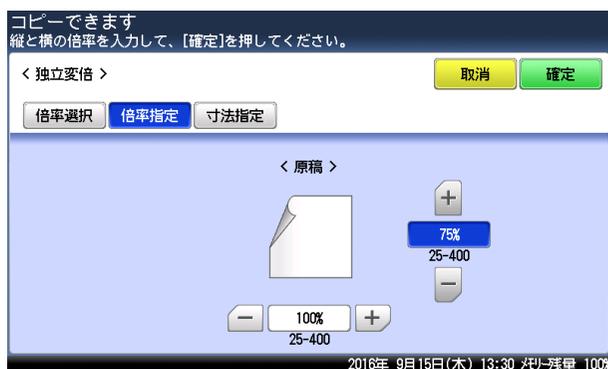
拡大・縮小率を原稿の縦横でそれぞれ 25 % ~ 400 % の範囲で、1 % きざみで指定できます。

1 コピー待機画面で、「拡大/縮小」から [倍率選択] を押します。



2 [倍率指定] を押します。

3 縦または横の入力ボックスを選択し、倍率を設定します。



[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。

4 [確定] を押します。

補足

適切なサイズの内紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して [確定] を押してください。

□ 原稿と用紙のサイズを指定する（寸法指定）

原稿のサイズとコピー後のサイズを入力して、コピー後の長さになるように倍率を計算してコピーできます。

計算された倍率が 25 % より小さくなるときや 400 % より大きくなるときは、設定できません。

1 コピー待機画面で、「拡大/縮小」から [倍率選択] を押します。



2 [寸法指定] を押します。

3 原稿と用紙のサイズを入力します。



[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。

4 [確定] を押します。

補足

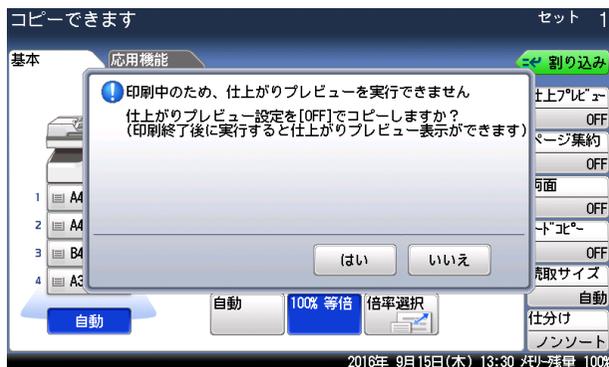
適切なサイズの用紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して [確定] を押してください。

コピー前にイメージを確認する（仕上がりプレビュー）

用紙にコピーする前に、タッチパネル上で読み取ったイメージを確認できます。

補足

- ・仕上がりプレビューを使用中は、割り込みコピーができません。
- ・イメージの作成中にメモリーオーバーが発生した場合は、イメージが確認できません。イメージを確認せずに、[印刷実行] を押すか [印刷中止] を押してメモリーに空きができてからやり直してください。
- ・機器がほかのジョブをプリントしているときは、この機能は使用できません。〈スタート〉を押すと下記の画面が表示されます。仕上がりプレビュー設定を OFF にするのか、プリントが終了するまで待つてやり直すのか、選択してください。



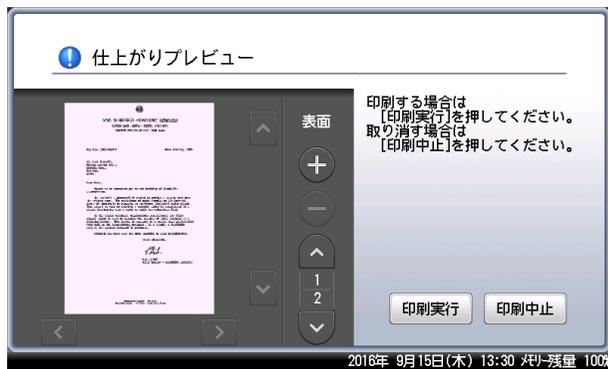
- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[仕上プレビュー] を押します。



- ・[仕上プレビュー] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[仕上がりプレビュー] を選択してください。
- ・[仕上プレビュー] を押すたびに、機能の ON と OFF が切り替わります。

- 3 〈スタート〉を押します。

4 イメージを確認します。



- ・ [▲] や [▼] を押すと、ページを送ったり戻したりできます。
- ・ [+] を押すと、拡大して表示できます。[-] を押すと、元の表示に戻ります。
- ・ [+] を押して拡大表示をしているときは、[◀]、[▶]、[▲]、[▼] を押すと、表示範囲を変更できます。
- ・ 用紙の両面にプリントする場合は、「表面」と「裏面」が表示されます。

5 コピーを開始する場合は、[印刷実行] または〈スタート〉を押します。 コピーを中止したい場合は、[印刷中止] を押します。

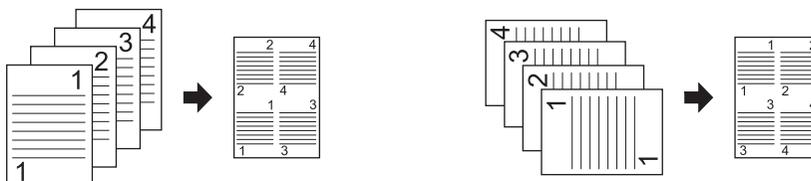
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする (ページ集約)

複数枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。
2 枚、4 枚、8 枚のいずれかの原稿を 1 枚の用紙にコピーできます。

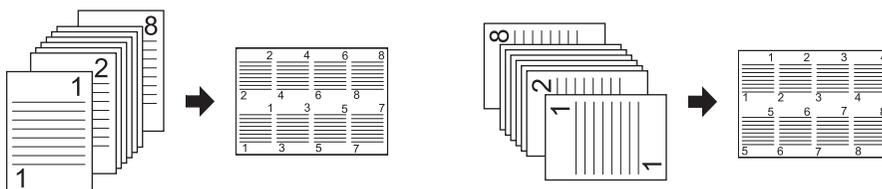
原稿 2 枚を 1 枚に



原稿 4 枚を 1 枚に



原稿 8 枚を 1 枚に



補足

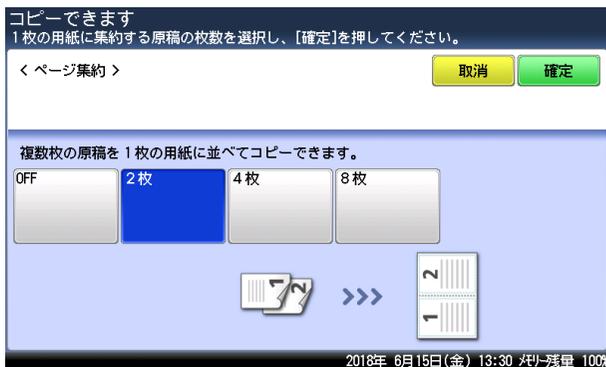
- ページ集約を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、ページ集約設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、ページ集約設定後に用紙を選択してください。
- 4 枚または 8 枚を集約する場合は、原稿のセット方向によって並び順が異なります (上図参照)。ただし、コピー倍率が自動以外のときや用紙の向きによっては、並び順が上図のようにならない場合があります (上図はコピー倍率が自動のときの例です)。

1 コピー待機画面で、[ページ集約] を押します。



[ページ集約] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[ページ集約] を選択してください。

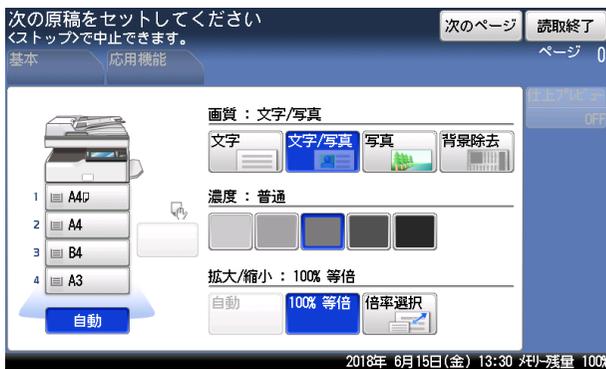
2 1枚の用紙に集約する原稿の枚数を選択し、[確定] を押します。



[OFF] を選択すると、ページ集約の設定が OFF になります。

補足

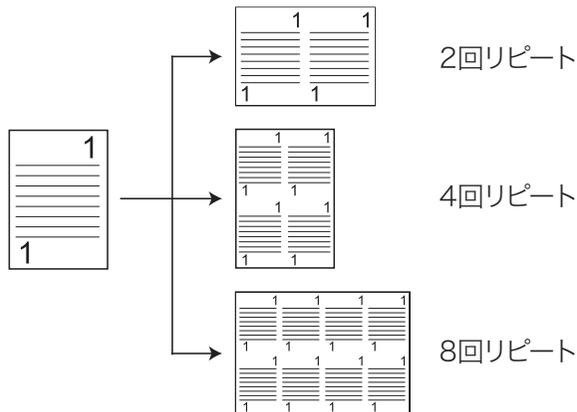
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または <スタート> を押します。



- 読み取りを終了するときには、[読取終了] を押します。

1 枚の用紙に繰り返しコピーする (リピート)

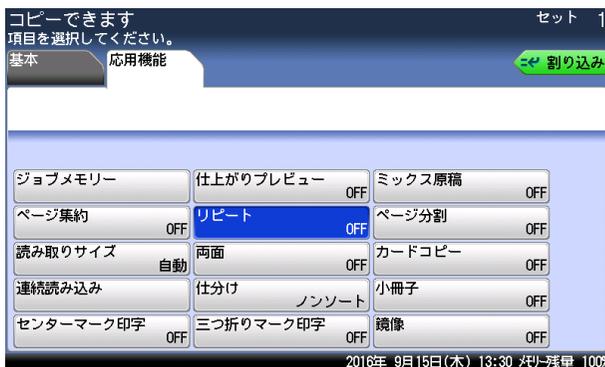
1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
 繰り返しの回数は、2回、4回、8回より選択できます。



補足

- リピートコピーを設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、リピートコピー設定後に用紙を選択してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

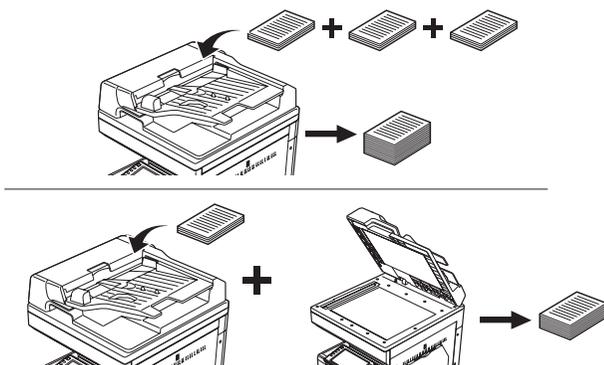
- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [リピート] を押します。



- 3 リピートする回数を選択し、[確定] を押します。
 [OFF] を選択すると、リピートの設定が OFF になります。
- 4 必要に応じて、コピーする用紙を選択します。
 用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）

原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。

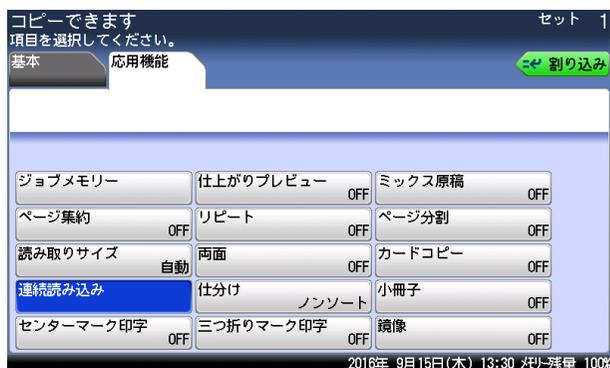


補足

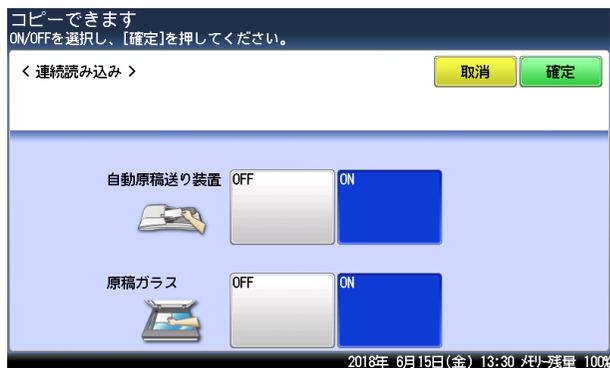
設定する機能によっては、初期値の設定にかかわらず、原稿ガラスの連続読み込み設定が ON になります。

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [連続読み込み] を押します。



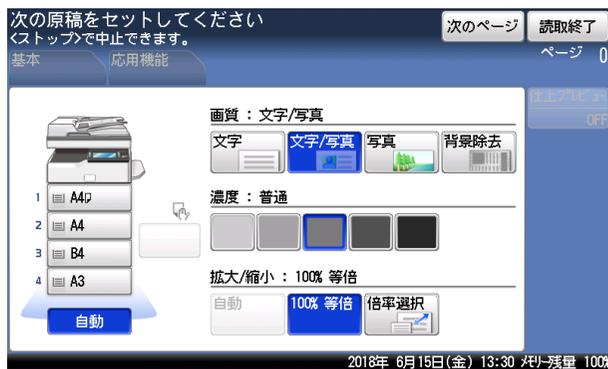
3 「ON」を選択し、[確定] を押します。



- ・ [OFF] を選択すると、連続読み込みの設定が OFF になります。
- ・ 設定は自動原稿送り装置と原稿ガラスで、個別に設定します。

補足

- 連続読み込みを「ON」にしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または 〈スタート〉 を押します。
- この画面が表示されているときに、画質、濃度、または拡大 / 縮小の設定が変更できます。



- 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

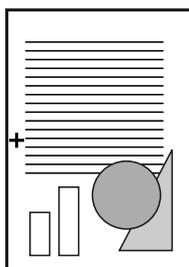
パンチの目印を付ける (センターマーク印字)

パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。

センターマークは、次のようにプリントされます：

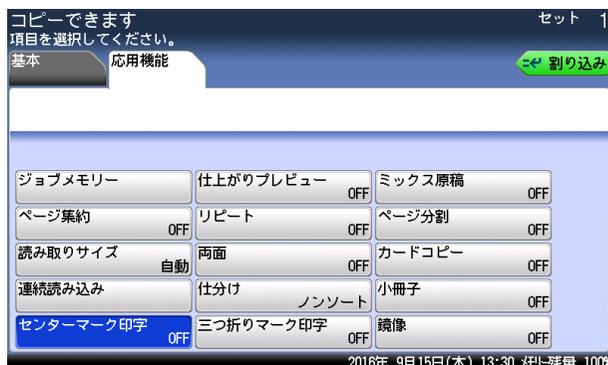
- 用紙の1ページ目にだけプリントされます。
- 選択した辺の中心にプリントされます。
- 用紙種類が「普通紙」の場合だけプリントされます。用紙種類をはがきや封筒にセットしたときは、プリントできません。

サンプル：

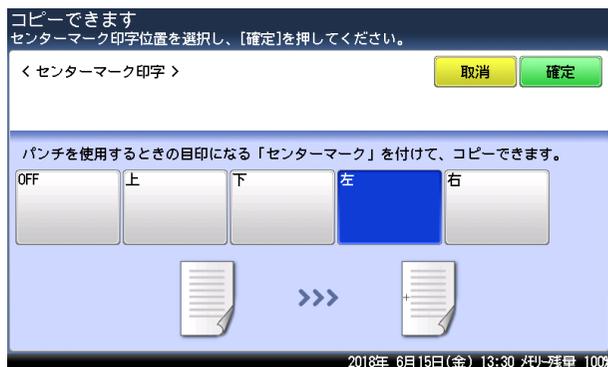


1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [センターマーク印字] を押します。



3 センターマークを付ける位置を選択し、[確定] を押します。



[OFF] を選択すると、センターマーク印字の設定が OFF になります。

割り込んでコピーする

プリント中に割り込んで別の原稿をコピーできます。
割り込みコピー中は「コピー予約できます」と表示されます。

補足

以下の場合には割り込みコピーができません。

- 原稿読み取り中
- 機器設定の操作中

1 プリント中に [割り込み] を押します。

2 割り込んでコピーする原稿をセットします。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質 (→ 2-6 ページ) や濃度 (→ 2-7 ページ) を設定します。

3 〈スタート〉を押して、割り込みコピーを行います。

4 割り込みコピー終了後、[割り込み] を押します。

割り込む前の画面に戻ります。プリント中に割り込んだ場合は、中断したプリントが自動的に再開されます。

補足

画面自動リセット時間で設定した時間が経過すると、割り込みは自動的に解除されます。
画面自動リセット時間の詳細については『機器設定・管理編』第1章の「初期値を設定する」を参照してください。

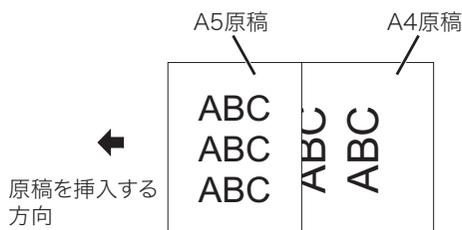
大きさが違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）

幅が同じで長さが違う原稿（たとえば A4 と A5 ）を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。

ミックスコピーが有効な原稿サイズの組み合わせは、A3 と A4 、A4 と A5 、または B4 と B5 です。

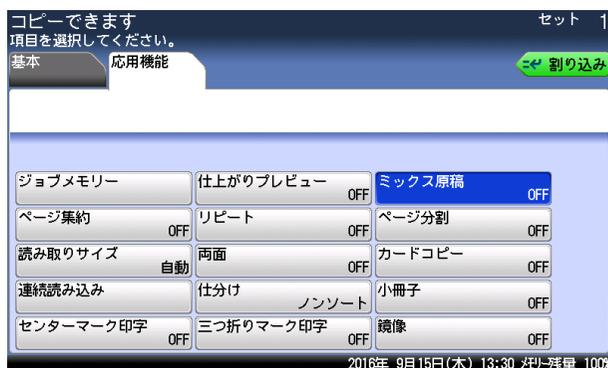
補足

- それぞれの記録紙カセットに該当する用紙がセットされる時に使用できます。
- 原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。
- 以下のイメージのように、原稿の幅と先端をそろえてセットしてください。



1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [ミックス原稿] を押します。



3 [ON] を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、ミックス原稿の設定が OFF になります。

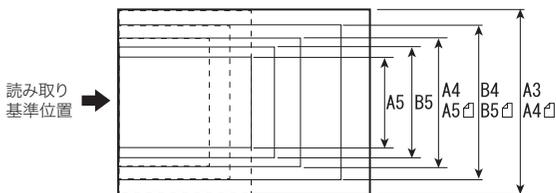
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。

自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は、原稿の中心を基準に設定したサイズの幅で原稿の長さの分を読み取ります。

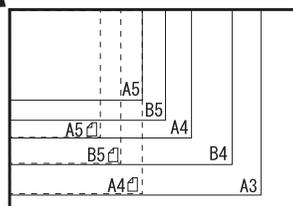
原稿ガラスに原稿をセットした場合は、セット基準位置から設定したサイズ分だけ読み取ります。原稿ガラスで本などをコピーするときに、原稿サイズを指定すると、コピーの外側に黒い影ができるのを防げます。

自動原稿送り装置



原稿ガラス

読み取り基準位置



1 コピー待機画面で、[読取サイズ] を押します。



[読取サイズ] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[読み取りサイズ] を選択してください。

2 コピーする原稿のサイズを選択し、[確定] を押します。

両面コピーする（両面）

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。

！お願い

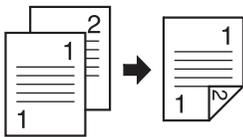
両面コピーは定形サイズの普通紙にコピーしてください。不定形サイズの内紙や普通紙以外の用紙（厚紙やはがきなど）を使用した場合、用紙がつまる恐れがあります。

補足

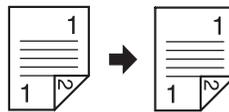
- 両面コピーを設定すると、ソートが自動的に ON に設定されます。
- 両面→両面、両面→片面のコピーを行う場合は、原稿を自動原稿送り装置にセットしてください。
- 見開き左右、見開き裏表のコピーを行う場合は、原稿を原稿ガラスにセットしてください。

両面コピーの種類

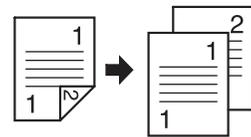
片面→両面



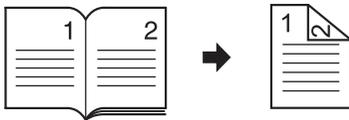
両面→両面



両面→片面

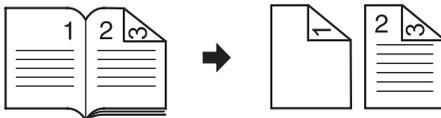


見開き左右



本などの見開きページの左右のページを両面にコピーします。

見開き裏表



本などの見開きページと同じ見開き状態になるように両面コピーします。

コピーのとじかたについて

原稿や用紙のとじかたを以下のように呼びます。

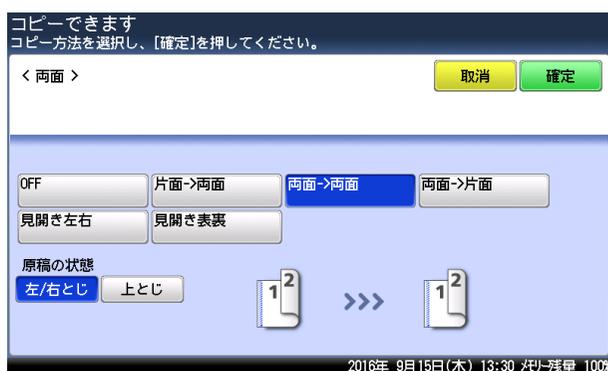
左/右とじ		上とじ
<p>左とじ</p> <p>左側でとじられているとき</p>	<p>右とじ</p> <p>右側でとじられているとき</p>	<p>上側でとじられているとき</p>

1 コピー待機画面で、[両面] を押します。



[両面] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[両面] を選択してください。

2 両面コピーの種類を選択します。



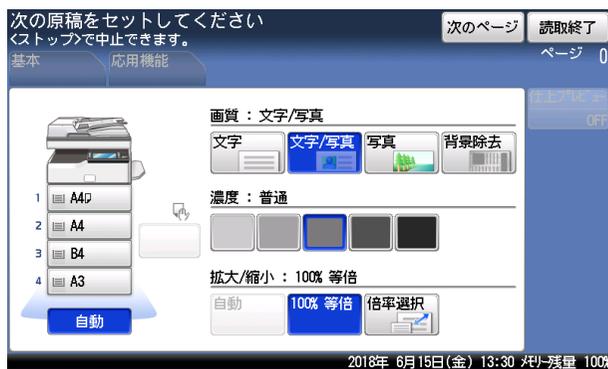
[OFF] を選択すると、両面の設定が OFF になります。

3 とじ位置を選択します。

4 [確定] を押します。

補足

- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または <スタート> を押します。



- 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

小冊子になるようにコピーする（小冊子）

複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。
出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。

補足

- 原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。
- 小冊子を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、小冊子設定後に倍率を設定してください。

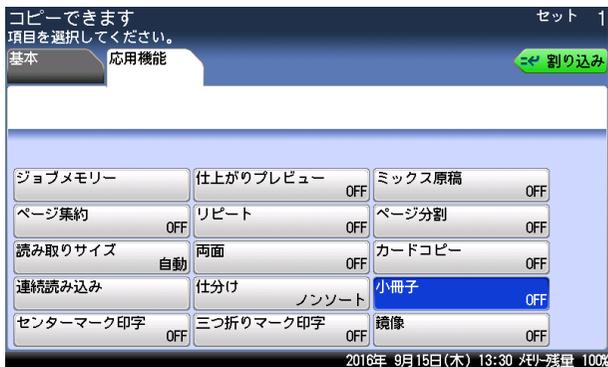
とじ位置と原稿のセット方法について

用紙の向きによって設定できるとじ位置が変わります。

設定	原稿のセット方法
左とじ	<p>左開きの小冊子を作りたいとき、左とじを選択します。</p>
右とじ	<p>右開きの小冊子を作りたいとき、右とじを選択します。</p>
上とじ	<p>上開きの小冊子を作りたいとき、上とじを選択します。</p>

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [小冊子] を押します。

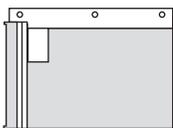
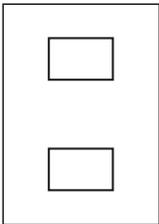
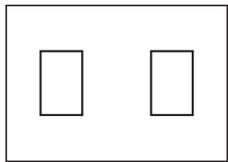
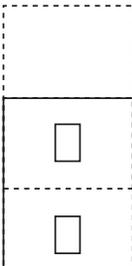
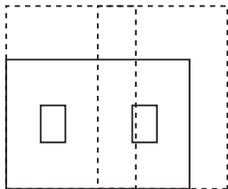
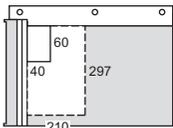
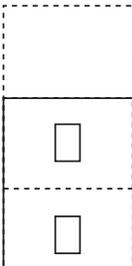
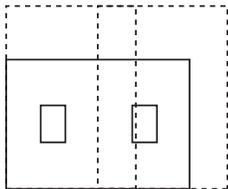


3 とじ位置を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、小冊子の設定が OFF になります。

カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする(カードコピー)

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズのカードの両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

	セット方向	コピー結果 (A4 用紙、コピー倍率 100 % の場合)	
		<input type="checkbox"/> 用紙	用紙
名刺 縦 91 × 横 55 (mm)			
免許証 縦 86 × 横 54 (mm)			
不定形サイズ 縦：60 ～ 297 (mm) 横：40 ～ 210 (mm)			

補足

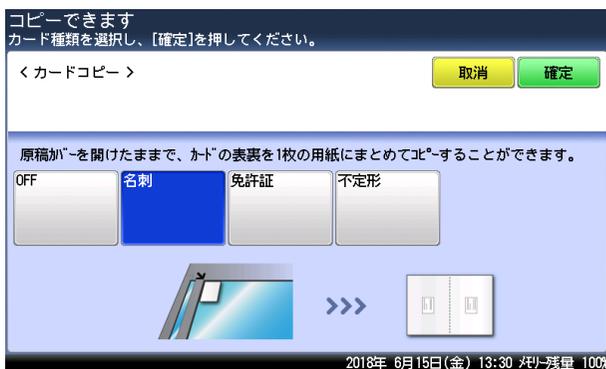
- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- 原稿押さえカバーは開けたままで、コピーできます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を選択したいときは、カードコピーを設定したあとに、希望の用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。
- 設定や用紙の条件によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

1 コピー待機画面で、[カードコピー] を押します。



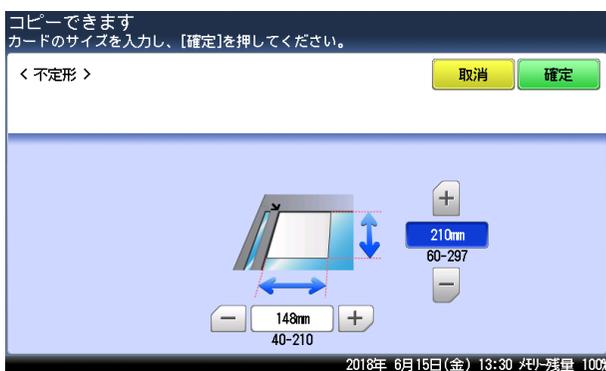
[カードコピー] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[カードコピー] を選択してください。

2 カードの種類を選択します。



- ・ [OFF] を選択すると、カードコピーの設定が OFF になります。
- ・ 原稿ガラスでの連続読み込みが自動で ON に設定されます。
- ・ [名刺] または [免許証] を選択したときは、手順 4 に進みます。
- ・ [不定形] を選択したときは、次の手順に進みます。

3 カードのサイズを設定し、[確定] を押します。

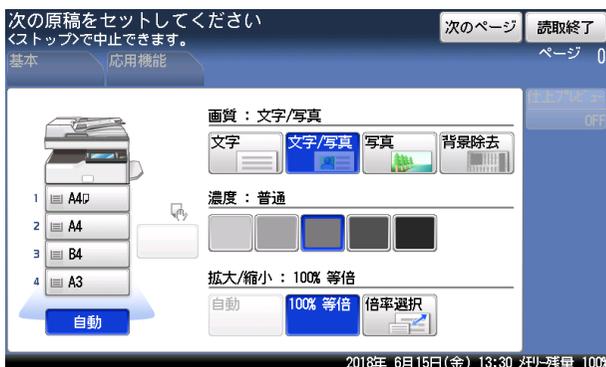


- ・ [+], または [-] を押して、カードのサイズを設定します。
- ・ テンキーでサイズを設定するときは、原稿サイズの入力ボックスを押してから値を入力してください。

4 [確定] を押します。

5 <スタート> を押します。

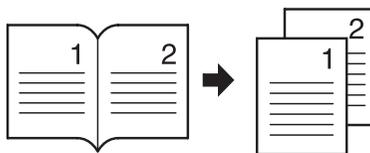
6 カードのおもて面を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。カードを裏返してセットして、[次のページ] を押します。



読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

2 ページを 1 枚ずつコピーする (ページ分割)

本などの閉じた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーできます。

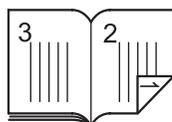
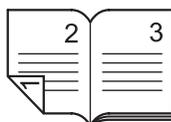


補足

- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- 原稿や用紙のとじかたを以下のように呼びます。

左とじ

右とじ

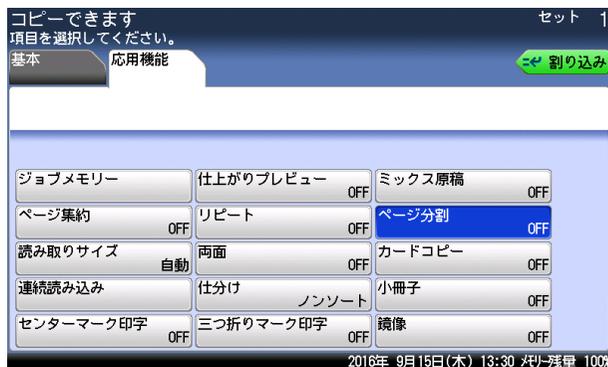


左側でとじられているとき

右側でとじられているとき

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [ページ分割] を押します。



3 とじ位置を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、ページ分割の設定が OFF になります。

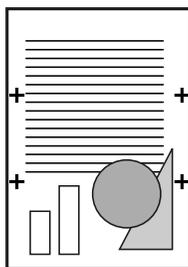
三つ折りの目印を付ける (三つ折りマーク印字)

コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。

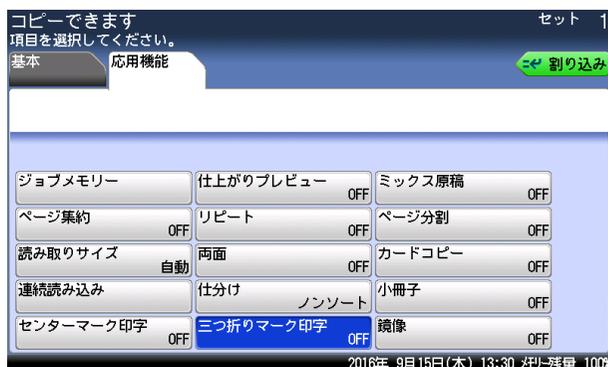
三つ折りマークは、次のようにプリントされます：

- 用紙の1ページ目にだけプリントされます。
- 用紙の長辺にプリントされます。
- 用紙種類が「普通紙」の場合だけプリントされます。用紙種類をはがきや封筒にセットしたときは、プリントできません。

サンプル：



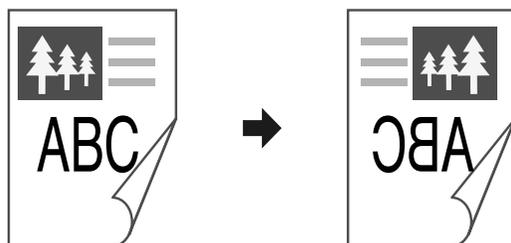
- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [三つ折りマーク印字] を押します。



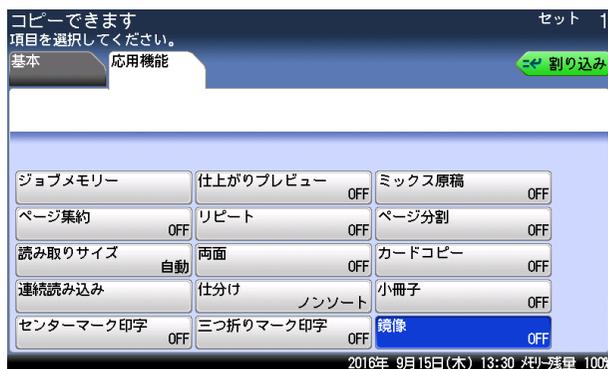
- 3 [ON] を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、三つ折りマーク印字の設定が OFF になります。

文字の左右を逆にコピーする（鏡像）

原稿のイメージを鏡に写したように左右を反転させて、コピーできます。



- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [鏡像] を押します。



- 3 [ON] を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、鏡像の設定が OFF になります。

第3章

コピー機能 (MFX-5185/V-785)

機能一覧.....	3-2
コピー機能.....	3-7
画質を設定する (画質).....	3-7
濃度を設定する (濃度).....	3-8
用紙を仕分けする (仕分け).....	3-9
拡大/縮小コピーする (拡大/縮小).....	3-11
コピー前にイメージを確認する (仕上がりプレビュー).....	3-16
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする (ページ集約).....	3-18
1枚の用紙に繰り返しコピーする (リピート).....	3-20
別の原稿を続けて読み取る (連続読み込み).....	3-21
パンチの目印を付ける (センターマーク印字).....	3-23
割り込んでコピーする.....	3-24
大きさの違う原稿と一緒にコピーする (ミックス原稿).....	3-25
原稿の読み取りサイズを指定する (読み取りサイズ).....	3-26
両面コピーする (両面).....	3-27
小冊子になるようにコピーする (小冊子).....	3-31
カードの両面を1枚の用紙にコピーする (カードコピー).....	3-33
三つ折りの目印を付ける (三つ折りマーク印字).....	3-35
文字の左右を逆にコピーする (鏡像).....	3-36
A3の原稿をコピーする (A3分割読取).....	3-37

機能一覧

MFX-5185 および V-785 では、次のようなコピー機能が利用できます。

機能	MFX-5185	V-785
画質	○	○
濃度	○	○
仕分け	○	○
拡大 / 縮小	○	○
自動	○	○
倍率選択	○	○
仕上がりプレビュー	○	○
ページ集約	○	○
リPEAT	○	○
連続読み込み	○	○
自動原稿送り装置	○	○
原稿ガラス	○	
センターマーク印字	○	○
割り込み	○	○
ミックス原稿	○	○
読み取りサイズ	○	
両面	○	
片面→両面	○	
両面→両面	○	
小冊子	○	
カードコピー	○	
三つ折りマーク印字	○	○
鏡像	○	○
A3 分割読み取り	○	
ジョブメモリー	○	○

○：利用できます 空欄：利用できません

画質 (→ 3-7 ページ)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。



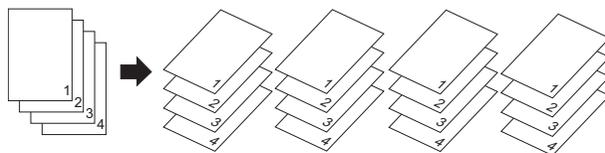
濃度 (→ 3-8 ページ)

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。

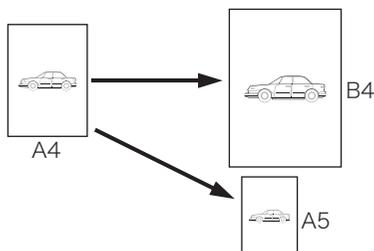


仕分け (→ 3-9 ページ)

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。

**拡大/縮小 (→ 3-11 ページ)**

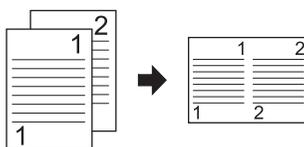
拡大/縮小コピーには、次の4つがあります：自動倍率（用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小する方法）、固定倍率（倍率を設定して拡大/縮小する方法）、倍率指定（縦横の拡大/縮小率を指定する方法）、寸法指定（原稿と用紙のサイズを指定する方法）。

**仕上がりプレビュー (→ 3-16 ページ)**

用紙にコピーする前に、タッチパネル上でイメージを確認できます。

ページ集約 (→ 3-18 ページ)

2枚、4枚、8枚の原稿を1枚の用紙にまとめてコピーできます。

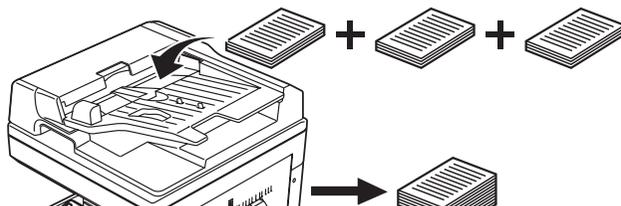
**リピート (→ 3-20 ページ)**

1枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2回、4回、8回より選択できます。



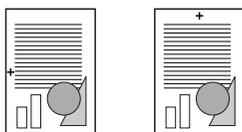
連続読み込み (→ 3-21 ページ)

原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。



センターマーク印字 (→ 3-23 ページ)

パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」をプリントできます。

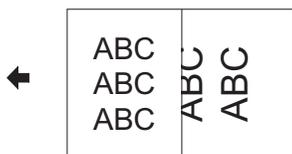


割り込み (→ 3-24 ページ)

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーできます。

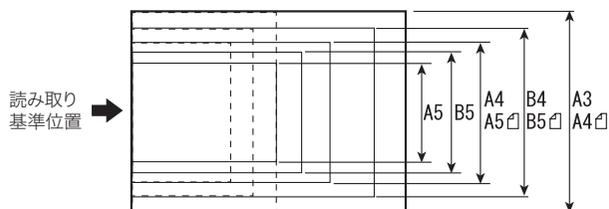
ミックス原稿 (→ 3-25 ページ)

幅が同じで長さが違う原稿 (たとえば A3 と A4 ) を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズ用の紙にコピーできます。



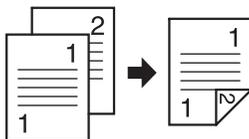
読み取りサイズ (→ 3-26 ページ)

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。



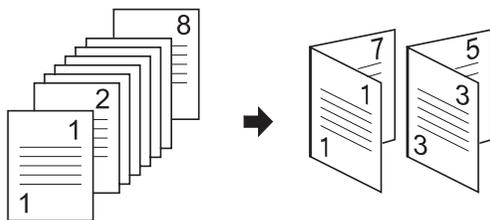
両面コピー (→ 3-27 ページ)

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。

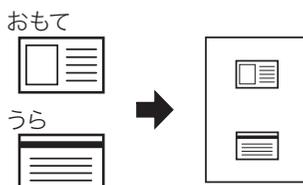


小冊子 (→ 3-31 ページ)

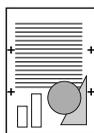
複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。
出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。

**カードコピー (→ 3-33 ページ)**

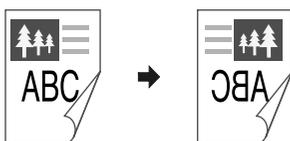
名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズの原稿の両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

**三つ折りマーク印字 (→ 3-35 ページ)**

コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。

**鏡像コピー (→ 3-36 ページ)**

原稿のイメージを鏡に写したように左右を反転させて、コピーできます。

**A3 分割読取 (→ 3-37 ページ)**

A3 原稿の左右を読み取って合成することにより、A3 原稿がコピーできます。

**ジョブメモリー**

よく使う設定をジョブメモリーに登録しておけば、設定のための操作の手間を省けます。
詳細は、『機器設定・管理編』第 1 章の「ジョブメモリーを使用する」を参照してください。

補足

各機能には、組み合わせで設定できないものがあります。組み合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の2種類があります。

- あとから設定したものが優先される（先に設定したものは解除される）
- 先に設定したものが優先される（警告メッセージが表示される）

コピー機能

補足

設定をよく変更する場合は、初期値を変更しておく、設定を変更する手間が省けます。
詳細は、「初期値を設定する」(5-2 ページ) を参照してください。

画質を設定する (画質)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。

- 文字 : 文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
- 文字/写真 : 写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真 : 写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
- 背景除去 : 原稿の地模様や地色などの背景を消して読み取ります。

1 コピー待機画面で、画質を選択します。

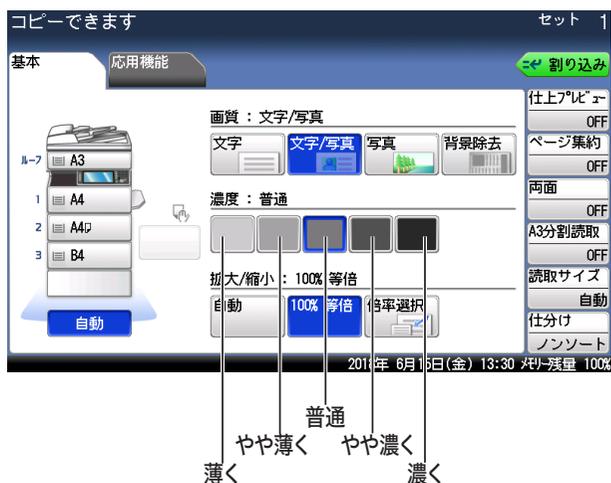


濃度を設定する（濃度）

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。

- 薄く : 薄く読み取りたいときに選択します。
- やや薄く : 普通よりもやや薄く読み取りたいときに選択します。
- 普通 : 標準の原稿を読み取りたいときに選択します。
- やや濃く : 普通よりもやや濃く読み取りたいときに選択します。
- 濃く : 濃く読み取りたいときに選択します。

1 コピー待機画面で、濃度を選択します。



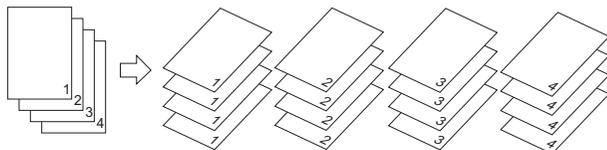
用紙を仕分けする (仕分け)

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。

A4とA4☑の用紙がセットされているときは、コピーを1部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。

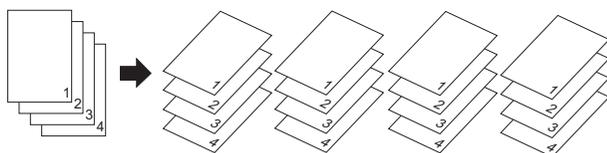
ノンソート

原稿のページごとに用紙を仕分けします。



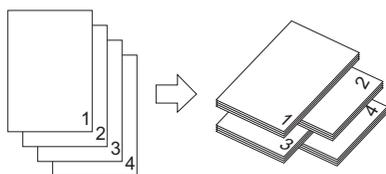
ソート

1部ごとに用紙を仕分けします。



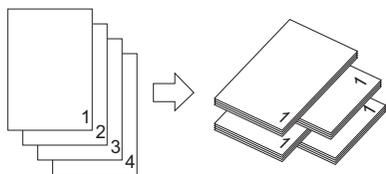
ノンソート + 回転仕分け (A4とA4☑がセットされているとき)

同じサイズの用紙をセットした場合、ページごとに向きを変えて仕分けします。



ソート + 回転仕分け (A4とA4☑がセットされているとき)

同じサイズの用紙をセットした場合、1部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。



☑補足

- 回転仕分けをするのは、A4とA4☑用紙がセットされている場合で、その用紙を使ってコピーするときだけです。
- V-785で回転仕分けをするときは、オプションの給紙ユニットの装着が必要です。
- 回転仕分けを設定するには、〈メニュー〉→[機器設定]タブ→[用紙/仕分け]→[回転仕分け]→「コピー部ごと」の順に押します。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「用紙に関する設定をする」を参照してください。

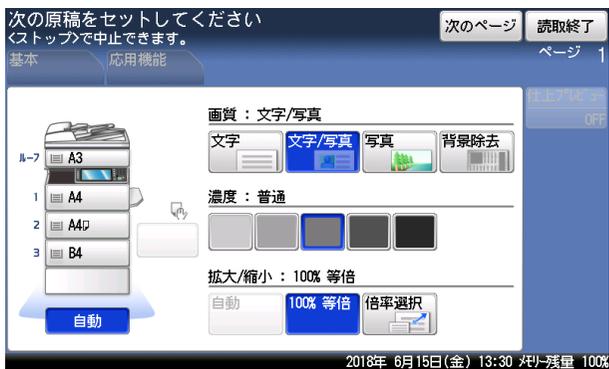
1 コピー待機画面で、[仕分け] を押します。



- ・ [仕分け] を押すたびに、[ソート] と [ノンソート] が切り替わります。
- ・ [仕分け] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[仕分け] を選択してください。
- ・ MFX-5185 では、ソートを選択すると原稿ガラスでの連続読み込みが自動で ON に設定されます。

補足

- ・ ソートを選択して原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または <スタート> を押します。



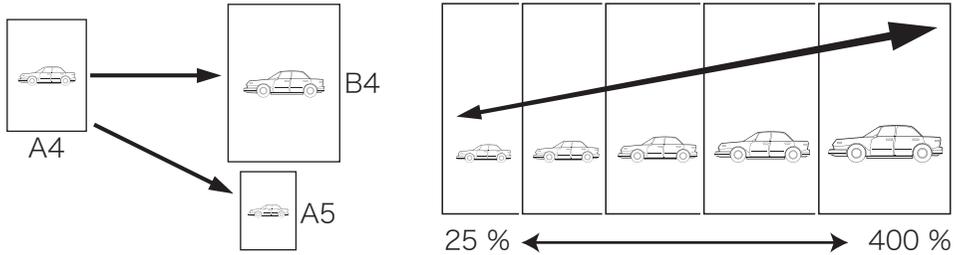
- ・ 読み取りを終了するときには、[読取終了] を押します。

拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）

拡大／縮小コピーには、次の4つがあります：

- 自動倍率（用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法）
- 固定倍率（倍率を設定して拡大／縮小する方法）
- 倍率指定（縦横の拡大／縮小率を指定する方法）
- 寸法指定（原稿と用紙のサイズを指定する方法）

固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法があります。



□ 用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率）

指定した用紙サイズに合わせて自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーを行います。原稿サイズを自動検出できないときは、手動選択した原稿サイズで自動倍率にてコピーします。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から [自動] を押します。



□ 倍率を指定して拡大／縮小する（固定倍率）

倍率を選択して、適切な用紙にコピーを行います。

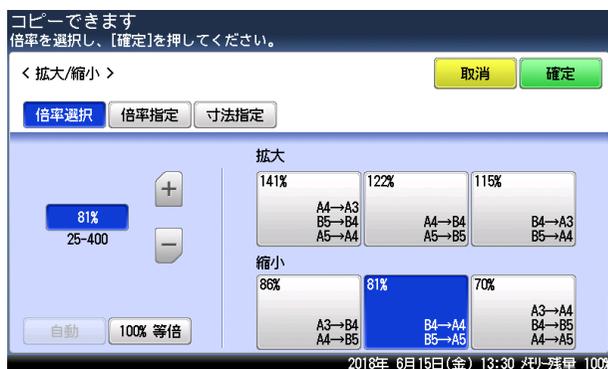
補足

- 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。
- 用紙は、倍率設定に応じて自動的に選択されます。用紙を選択したいときは、用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から【倍率選択】を押します。



2 倍率を選択し、【確定】を押します。



□ 任意の倍率でコピーする

倍率を25%～400%の範囲で、1%きざみで指定できます。

1 コピー待機画面で、「拡大/縮小」から「倍率選択」を押します。



2 倍率を設定し、「確定」を押します。



- ・[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。
- ・先に固定倍率を選択してから、倍率を調整することもできます。

補足

- ・適切なサイズ用の紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して「確定」を押してください。
- ・V-785 でオプションの給紙ユニットが装着されていない場合は、セットされている用紙にコピーします。

□ 縦横の拡大 / 縮小率を指定する (倍率指定)

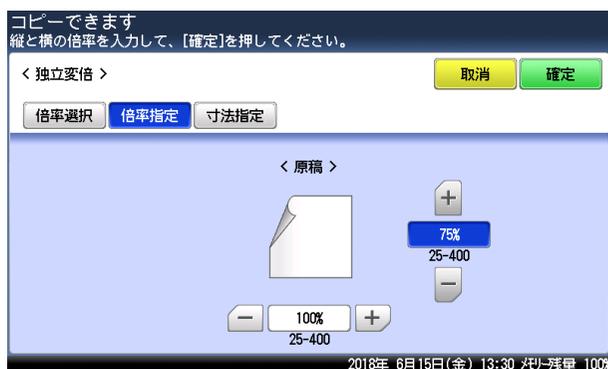
拡大・縮小率を原稿の縦横でそれぞれ 25 % ~ 400 % の範囲で、1 % きざみで指定できます。

1 コピー待機画面で、「拡大/縮小」から [倍率選択] を押します。



2 [倍率指定] を押します。

3 縦または横の入力ボックスを選択し、倍率を設定します。



[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。

4 [確定] を押します。

補足

- 適切なサイズの手紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して [確定] を押してください。
- V-785 でオプションの給紙ユニットが装着されていない場合は、セットされている用紙にコピーします。

□ 原稿と用紙のサイズを指定する（寸法指定）

原稿のサイズとコピー後のサイズを入力して、コピー後の長さになるように倍率を計算してコピーできます。

計算された倍率が 25 % より小さくなるときや 400 % より大きくなるときは、設定できません。

1 コピー待機画面で、「拡大/縮小」から [倍率選択] を押します。



2 [寸法指定] を押します。

3 原稿と用紙のサイズを入力します。



[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。

4 [確定] を押します。

補足

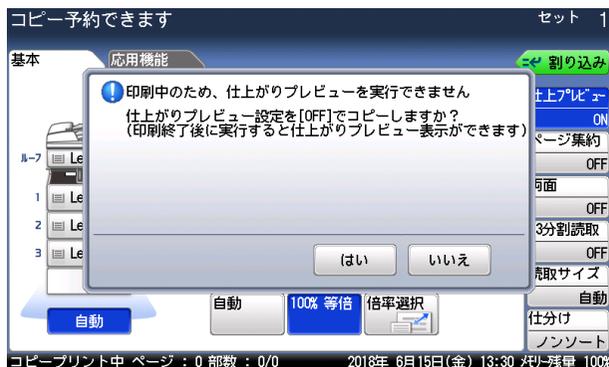
- 適切なサイズの用紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して [確定] を押してください。
- V-785 でオプションの給紙ユニットが装着されていない場合は、セットされている用紙にコピーします。

コピー前にイメージを確認する（仕上がりプレビュー）

用紙にコピーする前に、タッチパネル上で読み取ったイメージを確認できます。

補足

- ・仕上がりプレビューを使用中は、割り込みコピーができません。
- ・イメージの作成中にメモリーオーバーが発生した場合は、イメージが確認できません。イメージを確認せずに、[印刷実行] を押すか [印刷中止] を押してメモリーに空きができてからやり直してください。
- ・機器がほかのジョブをプリントしているときは、この機能は使用できません。〈スタート〉を押すと下記の画面が表示されます。仕上がりプレビュー設定を OFF にするのか、プリントが終了するまで待つてやり直すのか、選択してください。



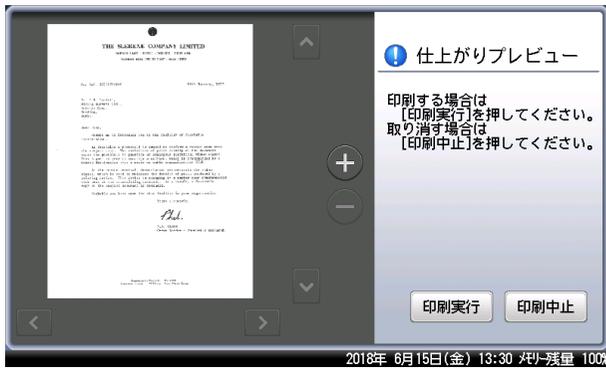
- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[仕上プレビュー] を押します。



- ・[仕上プレビュー] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[仕上がりプレビュー] を選択してください。
- ・[仕上プレビュー] を押すたびに、機能の ON と OFF が切り替わります。

- 3 〈スタート〉を押します。

4 イメージを確認します。



- ・ [▲] や [▼] を押すと、ページを送ったり戻したりできます。
- ・ [⊕] を押すと、拡大して表示できます。[⊖] を押すと、元の表示に戻ります。
- ・ [⊕] を押して拡大表示をしているときは、[◀]、[▶]、[▲]、[▼] を押すと、表示範囲を変更できます。
- ・ MFX-5185 の場合で、用紙の両面にプリントするときは、「表面」と「裏面」が表示されます。

5 コピーを開始する場合は、[印刷実行] または〈スタート〉を押します。

コピーを中止したい場合は、[印刷中止] を押します。

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする (ページ集約)

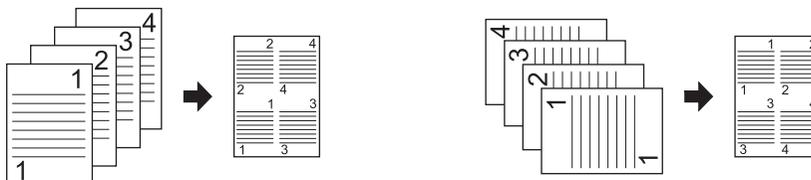
複数枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

2 枚、4 枚、8 枚のいずれかの原稿を 1 枚の用紙にコピーできます。

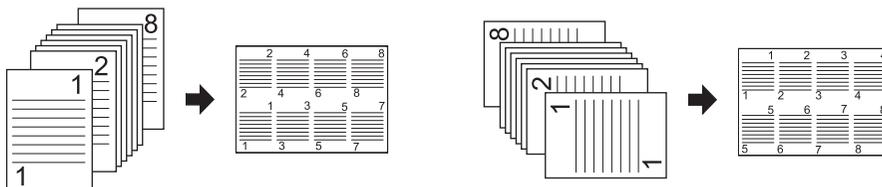
原稿 2 枚を 1 枚に



原稿 4 枚を 1 枚に



原稿 8 枚を 1 枚に



補足

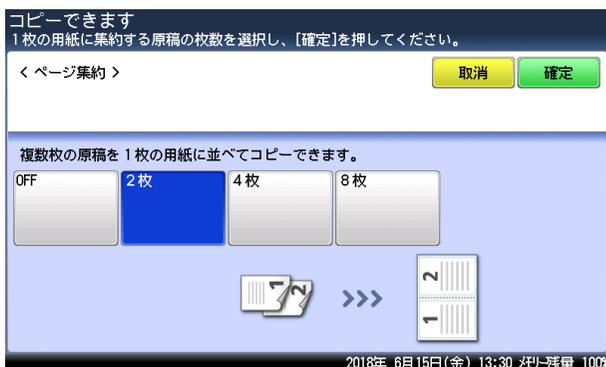
- ページ集約を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、ページ集約設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、ページ集約設定後に用紙を選択してください。
- 4 枚または 8 枚を集約する場合は、原稿のセット方向によって並び順が異なります (上図参照)。ただし、コピー倍率が自動以外のときや用紙の向きによっては、並び順が上図のようにならない場合があります (上図はコピー倍率が自動のときの例です)。

1 コピー待機画面で、[ページ集約] を押します。



[ページ集約] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[ページ集約] を選択してください。

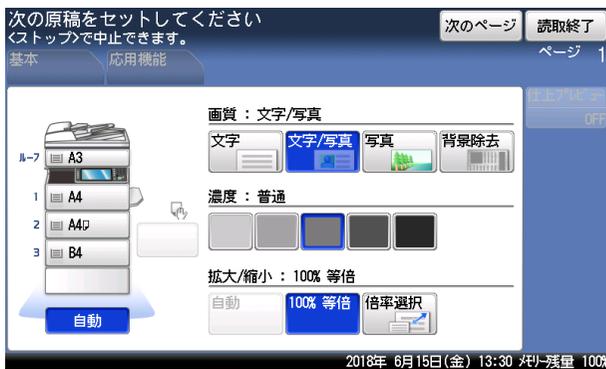
2 1 枚の用紙に集約する原稿の枚数を選択し、[確定] を押します。



[OFF] を選択すると、ページ集約の設定が OFF になります。

補足

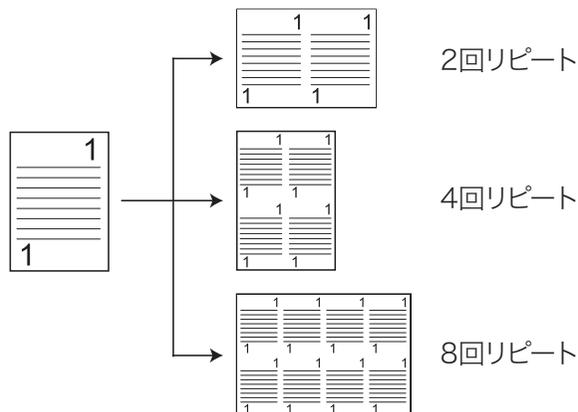
- MF-X-5185 の場合で、原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または [スタート] を押します。



- 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2回、4回、8回より選択できます。



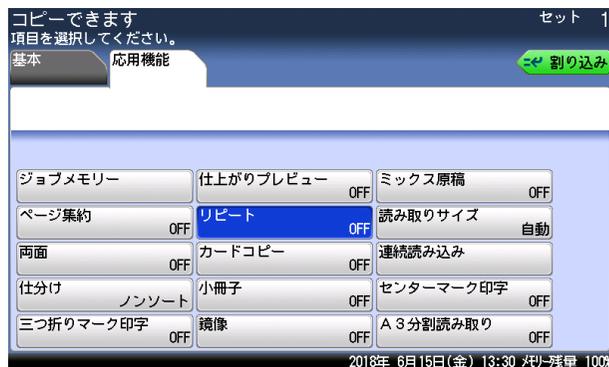
補足

- ・リピートコピーを設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- ・用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、リピートコピー設定後に用紙を選択してください。
- ・用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

V-785 では、コピー待機画面から [リピート] が選択できます。

2 [リピート] を押します。



3 リピートする回数を選択し、[確定] を押します。

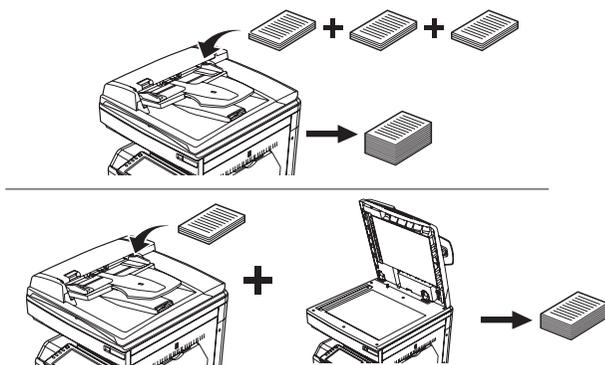
- ・[OFF] を選択すると、リピートの設定が OFF になります。
- ・区切り線を入れる場合は、区切り線 [あり] を押します。

4 必要に応じて、コピーする用紙を選択します。

用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）

原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。



補足

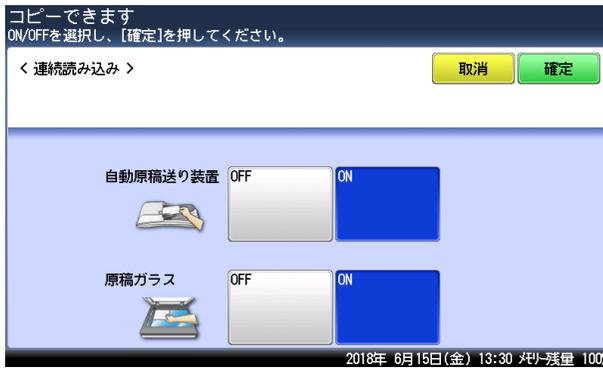
- 設定する機能によっては、初期値の設定にかかわらず、原稿ガラスの連続読み込み設定が ON になります。
- V-785 には、原稿ガラスはありません。

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
V-785 では、コピー待機画面から [連続読み込み] が選択できます。

2 [連続読み込み] を押します。



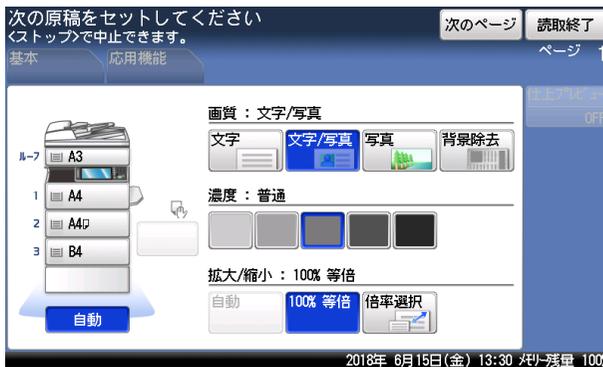
3 「ON」を選択し、[確定]を押します。



- ・ [OFF] を選択すると、連続読み込みの設定が OFF になります。
- ・ 設定は自動原稿送り装置と原稿ガラスで、個別に設定します。

補足

- ・ 連続読み込みを「ON」にしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または <スタート> を押します。
- ・ この画面が表示されているときに、画質、濃度、または拡大 / 縮小の設定が変更できます。



- ・ 読み取りを終了するときは、[読取終了]を押します。

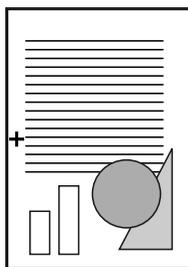
パンチの目印を付ける (センターマーク印字)

パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。

センターマークは、次のようにプリントされます：

- 用紙の1ページ目にだけプリントされます。
- 選択した辺の中心にプリントされます。
- MFJ-5185 で両面コピーを設定したときは、おもて面にだけプリントされます。
- 用紙種類が「普通紙」の場合だけプリントされます。用紙種類をはがきや封筒にセットしたときは、プリントできません。
- センターマーク印字と三つ折りマーク印字は同時に設定できません。

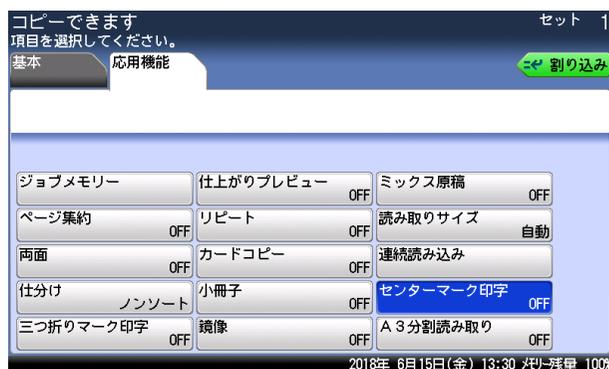
サンプル：



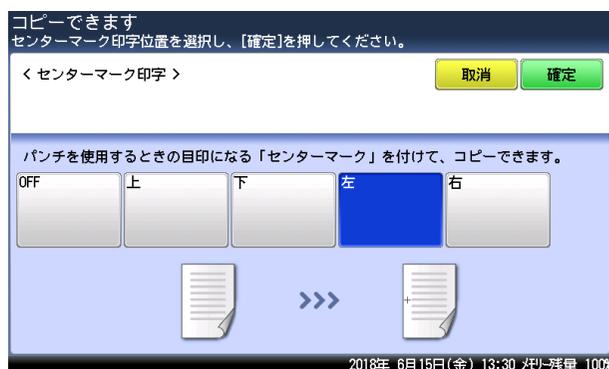
1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

V-785 では、コピー待機画面から [センターマーク印字] が選択できます。

2 [センターマーク印字] を押します。



3 センターマークを付ける位置を選択し、[確定] を押します。



[OFF] を選択すると、センターマーク印字の設定が OFF になります。

割り込んでコピーする

プリント中に割り込んで別の原稿をコピーできます。
割り込みコピー中は「コピー予約できます」と表示されます。

補足

以下の場合には割り込みコピーができません。

- 原稿読み取り中
- 機器設定の操作中

1 プリント中に [割り込み] を押します。

2 割り込んでコピーする原稿をセットします。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質 (→ 3-7 ページ) や濃度 (→ 3-8 ページ) を設定します。

3 〈スタート〉を押して、割り込みコピーを行います。

4 割り込みコピー終了後、[割り込み] を押します。

割り込む前の画面に戻ります。プリント中に割り込んだ場合は、中断したプリントが自動的に再開されます。

補足

画面自動リセット時間で設定した時間が経過すると、割り込みは自動的に解除されます。
画面自動リセット時間の詳細については『機器設定・管理編』第1章の「初期値を設定する」を参照してください。

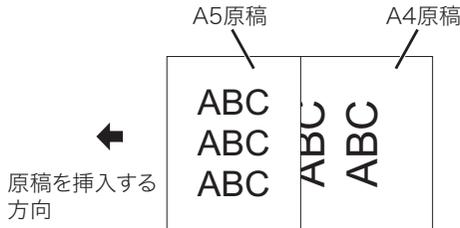
大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）

幅が同じで長さが違う原稿（たとえば A4 と A5 ）を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。

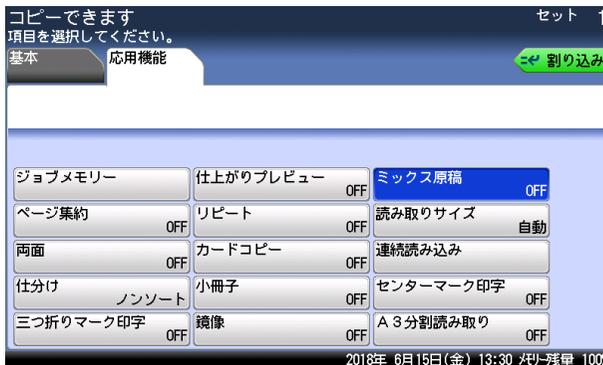
ミックスコピーが有効な原稿サイズの組み合わせは、A3 と A4 、A4 と A5 、または B4 と B5 です。

補足

- それぞれの記録紙カセットに該当する用紙がセットされる時に使用できます。
- 原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。
- 以下のイメージのように、原稿の幅と先端をそろえてセットしてください。



- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [ミックス原稿] を押します。



- 3 [ON] を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、ミックス原稿の設定が OFF になります。

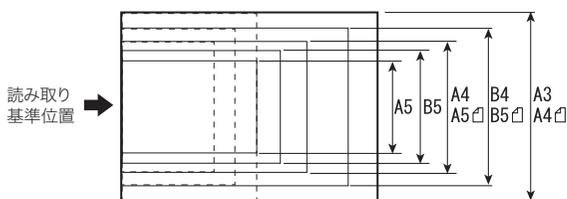
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。

自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は、原稿の中心を基準に設定したサイズの幅で原稿の長さの分を読み取ります。

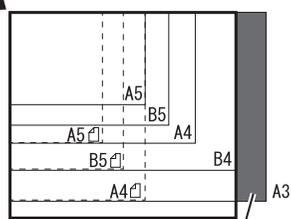
原稿ガラスに原稿をセットした場合は、セット基準位置から設定したサイズ分だけ読み取ります。原稿ガラスで本などをコピーするとき、原稿サイズを指定すると、コピーの外側に黒い影ができるのを防げます。

自動原稿送り装置



原稿ガラス

読み取り基準位置



網掛け部分は、読み取られません

補足

- この機能は V-785 では利用できません。
- 原稿ガラスに原稿をセットして、読み取りサイズで A3 を選択した場合は、上記イラストの網掛け部分は読み取られません。

1 コピー待機画面で、[読取サイズ] を押します。



[読取サイズ] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[読み取りサイズ] を選択してください。

2 コピーする原稿のサイズを選択し、[確定] を押します。

両面コピーする (両面)

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。

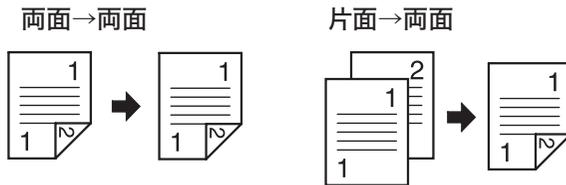
！お願い

両面コピーは定形サイズの普通紙にコピーしてください。不定形サイズの内紙や普通紙以外の用紙（厚紙やはがきなど）を使用した場合、用紙がつまる恐れがあります。

補足

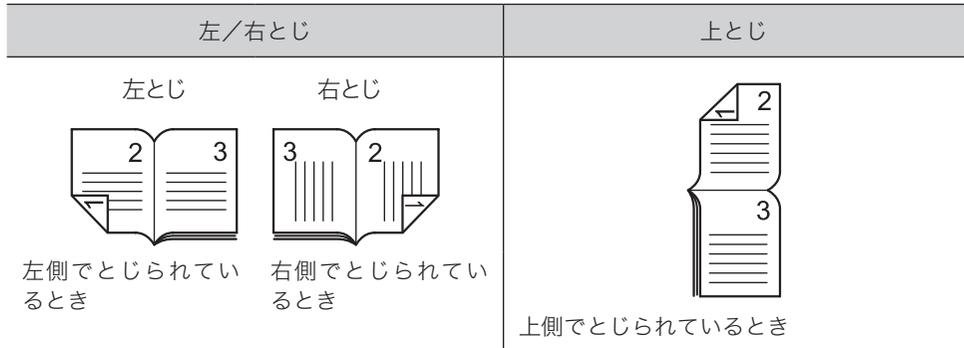
- 両面コピーを設定すると、ソートが自動的に ON に設定されます。
- この機能は V-785 では利用できません。

両面コピーの種類



コピーのとじかたについて

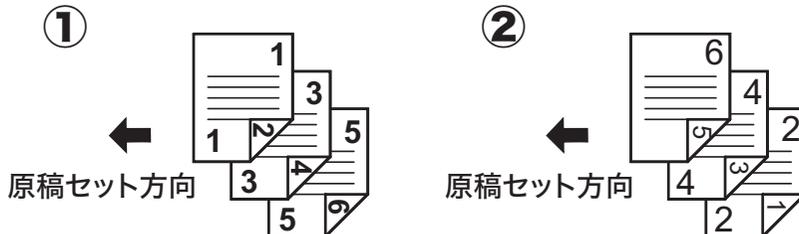
原稿や用紙のとじかたを以下のように呼びます。



両面原稿の読み取りについて

両面原稿の読み取りは、自動原稿送り装置で行います。

まず、原稿のおもて面を読み取ります。すべてのページの読み込みが終わったら、そのまま原稿のうら面をセットして、うら面の最終ページから読み込みます。



□ 両面原稿を両面コピーする

補足

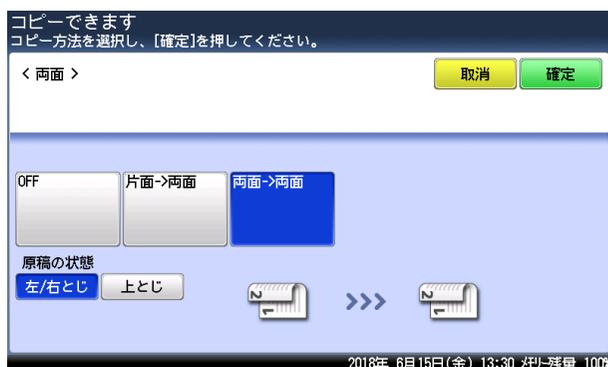
原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。

- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[両面] を押します。



[両面] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[両面] を選択してください。

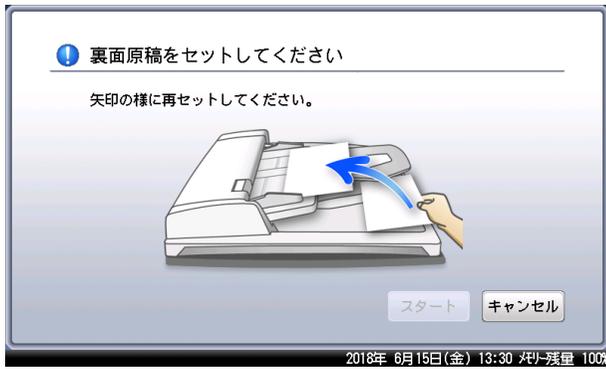
- 3 [両面→両面] を選択します。



[OFF] を選択すると、両面の設定が OFF になります。

- 4 [左/右とじ] または [上とじ] を選択します。
 - ・原稿のおもてとうらで、イメージの上下が同じ場合は、左右とじを選択します。
 - ・原稿のおもてとうらで、イメージの上下が逆の場合は、上とじを選択します。
- 5 [確定] を押します。
- 6 〈スタート〉を押します。

- 7 原稿のおもて面を読み取ったあとに「裏面原稿をセットしてください」と表示されます。原稿のうら面をセットして、[スタート] または (スタート) を押します。



読み取りを終了するときは、[キャンセル] を押します。

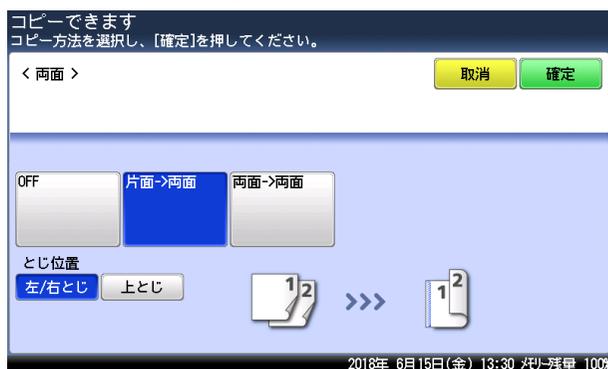
□ 片面原稿を両面コピーする

- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[両面] を押します。



[両面] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[両面] を選択してください。

- 3 [片面→両面] を選択します。



[OFF] を選択すると、両面の設定が OFF になります。

- 4 [左/右とじ] または [上とじ] を選択します。
 - ・コピーのおもてとうらで、イメージの上下を同じにする場合は、左右とじを選択します。
 - ・コピーのおもてとうらで、イメージの上下を逆にする場合は、上とじを選択します。
- 5 [確定] を押します。
- 6 〈スタート〉を押します。

小冊子になるようにコピーする（小冊子）

複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。
出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。

補足

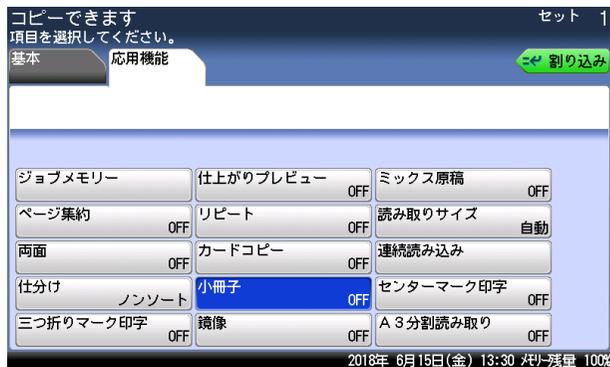
- 原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。
- 小冊子を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、小冊子設定後に倍率を設定してください。
- この機能は V-785 では利用できません。

とじ位置と原稿のセット方法について

用紙の向きによって設定できるとじ位置が変わります。

設定	原稿のセット方法
左とじ	<p>原稿の挿入方向</p> <p>とじ位置</p> <p>コピー</p> <p>左開きの小冊子を作りたいとき、左とじを選択します。</p>
右とじ	<p>原稿の挿入方向</p> <p>とじ位置</p> <p>コピー</p> <p>右開きの小冊子を作りたいとき、右とじを選択します。</p>
上とじ	<p>原稿の挿入方向</p> <p>とじ位置</p> <p>コピー</p> <p>上開きの小冊子を作りたいとき、上とじを選択します。</p>

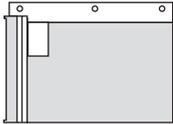
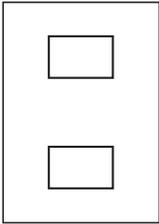
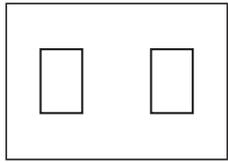
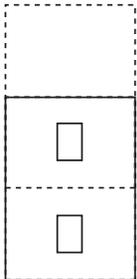
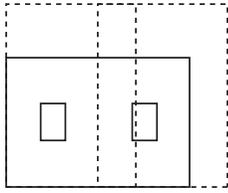
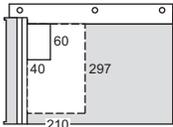
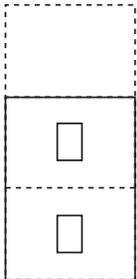
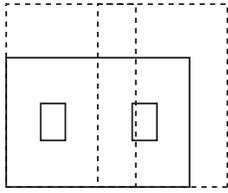
- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [小冊子] を押します。



- 3 とじ位置を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、小冊子の設定が OFF になります。

カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする (カードコピー)

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズのカードの両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

	セット方向	コピー結果 (A4 用紙、コピー倍率 100 % の場合)	
		<input type="checkbox"/> 用紙	用紙
名刺 縦 91 × 横 55 (mm)			
免許証 縦 86 × 横 54 (mm)			
不定形サイズ 縦：60 ~ 297 (mm) 横：40 ~ 210 (mm)			

補足

- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- 原稿押さえカバーは開けたままで、コピーできます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を選択したいときは、カードコピーを設定したあとに、希望の用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。
- 設定や用紙の条件によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- この機能は V-785 では利用できません。

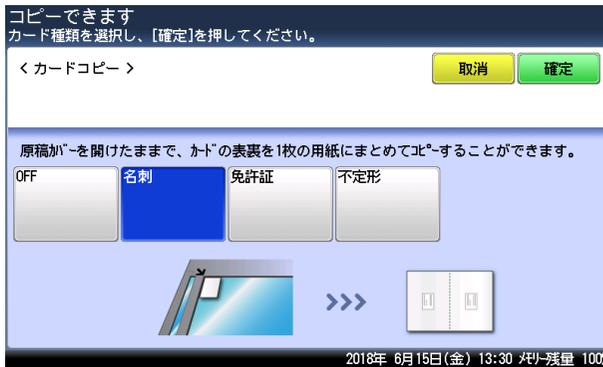
1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [カードコピー] を押します。



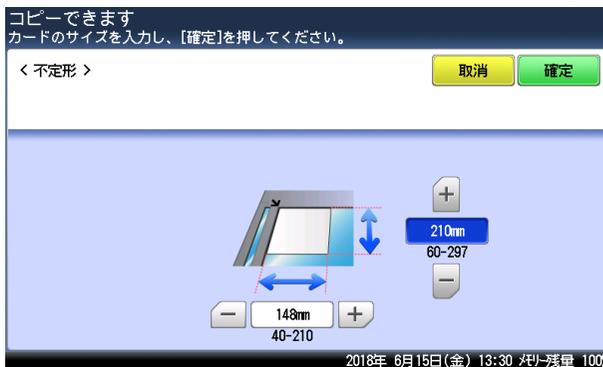
[カードコピー] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[カードコピー] を選択してください。

3 カードの種類を選択します。



- ・ [OFF] を選択すると、カードコピーの設定が OFF になります。
- ・ 原稿ガラスでの連続読み込みが自動で ON に設定されます。
- ・ [名刺] または [免許証] を選択したときは、手順5に進みます。
- ・ [不定形] を選択したときは、次の手順に進みます。

4 カードのサイズを設定し、[確定] を押します。

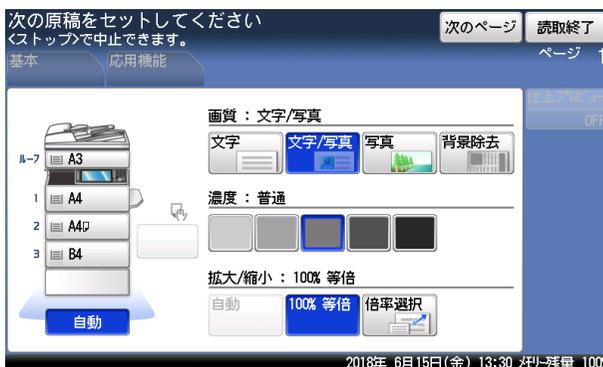


- ・ [+], または [-] を押して、カードのサイズを設定します。
- ・ テンキーでサイズを設定するときは、原稿サイズの入力ボックスを押してから値を入力してください。

5 [確定] を押します。

6 <スタート> を押します。

7 カードのおもて面を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。カードを裏返してセットして、[次のページ] を押します。



読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

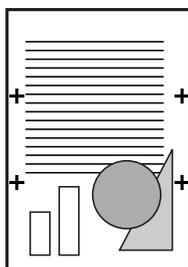
三つ折りの目印を付ける (三つ折りマーク印字)

コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。

三つ折りマークは、次のようにプリントされます：

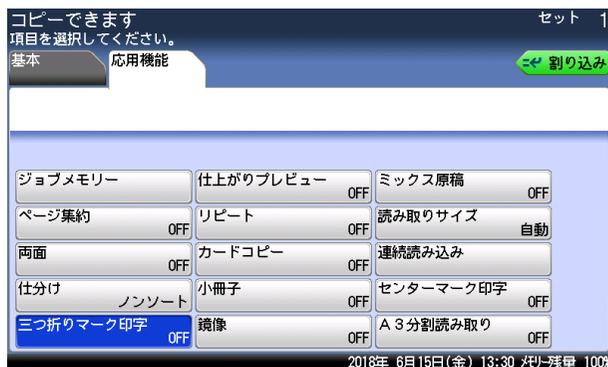
- 用紙の1ページ目にだけプリントされます。
- 用紙の長辺にプリントされます。
- 用紙種類が「普通紙」の場合だけプリントされます。用紙種類をはがきや封筒にセットしたときは、プリントできません。
- センターマーク印字と三つ折りマーク印字は同時に設定できません。

サンプル：



1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [三つ折りマーク印字] を押します。

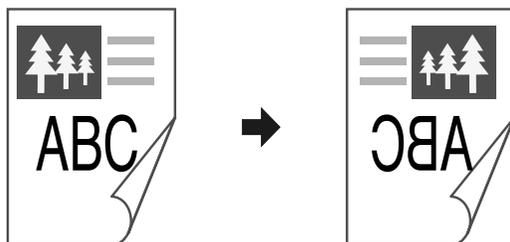


3 [ON] を選択し、[確定] を押します。

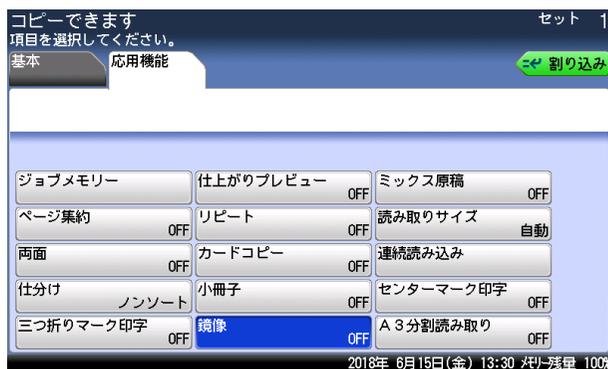
[OFF] を選択すると、三つ折りマーク印字の設定が OFF になります。

文字の左右を逆にコピーする（鏡像）

原稿のイメージを鏡に写したように左右を反転させて、コピーできます。



- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [鏡像] を押します。



- 3 [ON] を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、鏡像の設定が OFF になります。

A3 の原稿をコピーする（A3 分割読取）

A3 原稿を左右半分ずつ読み取って合成することにより、A3 原稿がコピーできます。



補足

- この機能は、V-785 では利用できません。
- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- A3 分割読み取りに使用できる用紙は、A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5 です。
- 倍率は、自動倍率に設定され、変更できません。
- ページ集約、リピート、カードコピー、小冊子、ミックス原稿、読み取りサイズとは同時に利用できません。

1 コピー待機画面で、[A3 分割読取] を押します。



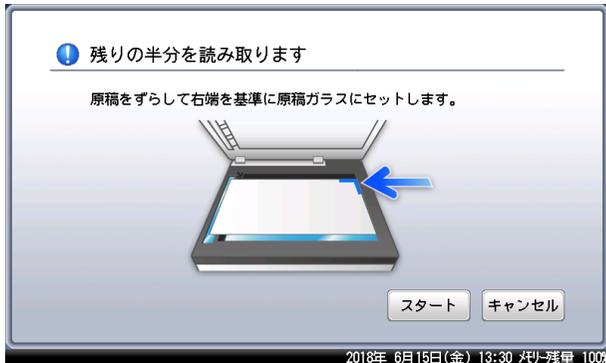
- [A3 分割読取] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[A3 分割読み取り] を選択してください。
- [A3 分割読取] を押すたびに、機能の ON と OFF が切り替わります。

2 原稿を原稿ガラスの左上を基準にしてセットします。

3 〈スタート〉を押します。

A3 原稿の半分が読み込まれます。

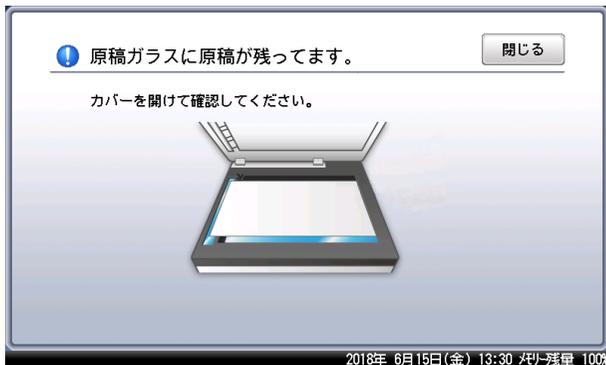
- 4 「残りの半分を読み取ります」と表示されたら、原稿をずらして原稿ガラスの右上を基準にセットします。



- 5 [スタート] または 〈スタート〉 を押します。

A3 原稿の残り半分が読み込まれます。

- 6 「原稿ガラスに原稿が残っています」と表示されたら、原稿ガラスから原稿を取り除きます。



- 7 続けて A3 分割読み取りをする場合は、手順 2 から手順 6 の操作を繰り返します。読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。



第4章

コピー機能 (MFX-5180/V-780)

機能一覧.....	4-2
コピー機能.....	4-6
画質を設定する (画質).....	4-6
濃度を設定する (濃度).....	4-7
用紙を仕分けする (仕分け).....	4-8
拡大/縮小コピーする (拡大/縮小).....	4-10
コピー前にイメージを確認する (読取プレビュー).....	4-13
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする (ページ集約).....	4-15
1枚の用紙に繰り返しコピーする (リピート).....	4-17
別の原稿を続けて読み取る (連続読み込み).....	4-18
パンチの目印を付ける (センターマーク印字).....	4-20
割り込んでコピーする.....	4-21
大きさの違う原稿を一緒にコピーする (ミックス原稿).....	4-22
原稿の読み取りサイズを指定する (読み取りサイズ).....	4-23
両面コピーする (両面).....	4-24
小冊子になるようにコピーする (小冊子).....	4-28
カードの両面を1枚の用紙にコピーする (カードコピー).....	4-30
A3の原稿をコピーする (A3分割読取).....	4-33

機能一覧

MFX-5180 および V-780 では、次のようなコピー機能が利用できます。

機能	MFX-5180	V-780
画質	○	○
濃度	○	○
拡大 / 縮小		
自動	○	○
倍率選択	○	○
ジョブメモリー	○	○
読み取りプレビュー	○	○
ミックス原稿	○	
ページ集約	○	○
リピート	○	○
読み取りサイズ	○	
両面	○	
片面→両面	○	
両面→両面	○	
カードコピー	○	
連続読み込み		
自動原稿送り装置	○	○
原稿ガラス	○	
仕分け	○	○
センターマーク印字	○	○
小冊子	○	
A3 分割読み取り	○	

○：利用できます 空欄：利用できません

画質 (→ 4-6 ページ)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。



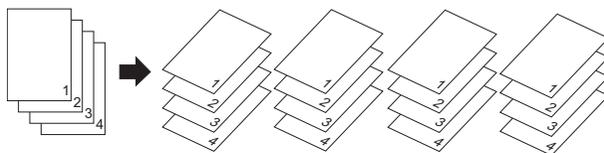
濃度 (→ 4-7 ページ)

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。



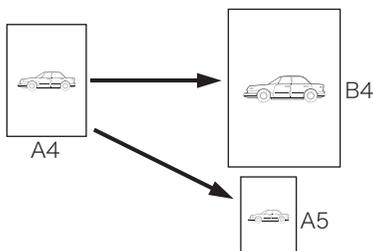
仕分け (→ 4-8 ページ)

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。



拡大/縮小 (→ 4-10 ページ)

用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小する方法 (自動倍率) と、倍率を設定して拡大/縮小する方法 (固定倍率) があります。固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法があります。

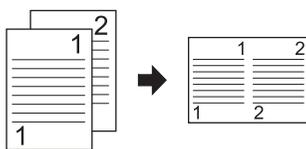


読取プレビュー (→ 4-13 ページ)

用紙にコピーする前に、タッチパネル上でイメージを確認できます。

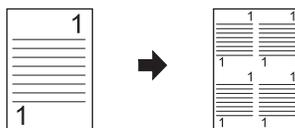
ページ集約 (→ 4-15 ページ)

2 枚、4 枚、8 枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



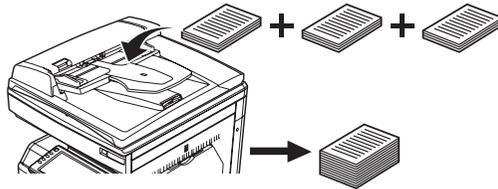
リピート (→ 4-17 ページ)

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2 回、4 回、8 回より選択できます。



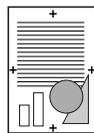
連続読み込み (→ 4-18 ページ)

原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。



センターマーク印字 (→ 4-20 ページ)

パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」をプリントできます。

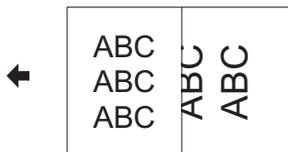


割り込み (→ 4-21 ページ)

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーできます。

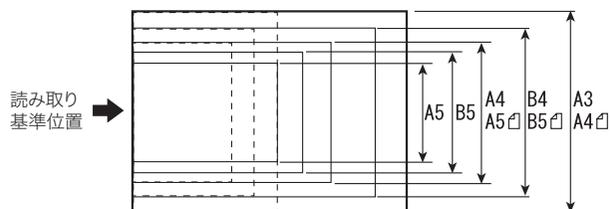
ミックス原稿 (→ 4-22 ページ)

幅が同じで長さが違う原稿 (たとえば A3 と A4 ) を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの下紙にコピーできます。



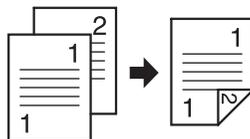
読み取りサイズ (→ 4-23 ページ)

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。



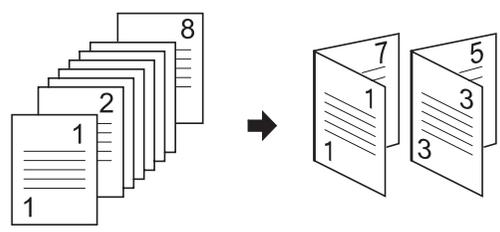
両面コピー (→ 4-24 ページ)

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。



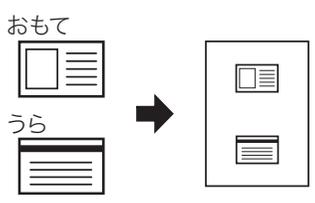
小冊子 (→ 4-28 ページ)

複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。



カードコピー (→ 4-30 ページ)

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズの原稿の両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。



A3 分割読取 (→ 4-33 ページ)

A3 原稿の左右を読み取って合成することにより、A3 原稿がコピーできます。



ジョブメモリー

よく使う設定をジョブメモリーに登録しておけば、設定のための操作の手間を省けます。詳細は、『機器設定・管理編』第 1 章の「ジョブメモリーを使用する」を参照してください。

補足

- 各機能には、組み合わせて設定できないものがあります。組み合わせてできない操作を行った場合の動作には、以下の 2 種類があります。
- あとから設定したものが優先される (先に設定したものは解除される)
 - 先に設定したものが優先される (警告メッセージが表示される)

コピー機能

補足

設定をよく変更する場合は、初期値を変更しておく、設定を変更する手間が省けます。
詳細は、「初期値を設定する」(5-2 ページ) を参照してください。

画質を設定する (画質)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。

- 文字 : 文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
- 文字/写真 : 写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真 : 写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
- 背景除去 : 原稿の地模様や地色などの背景を消して読み取ります。

1 コピー待機画面で、画質を選択します。

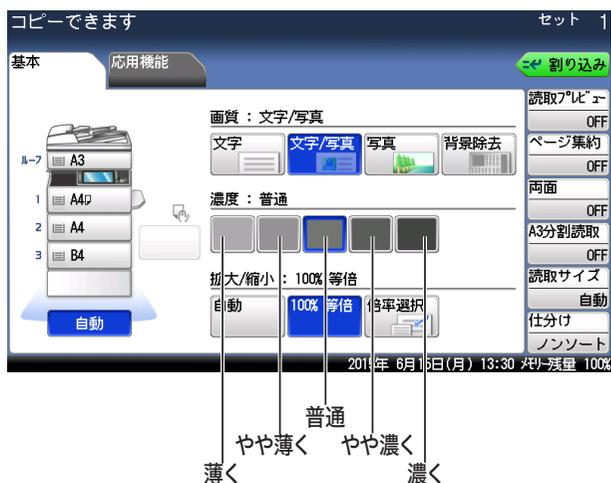


濃度を設定する（濃度）

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。

- 薄く : 薄く読み取りたいときに選択します。
- やや薄く : 普通よりもやや薄く読み取りたいときに選択します。
- 普通 : 標準の原稿を読み取りたいときに選択します。
- やや濃く : 普通よりもやや濃く読み取りたいときに選択します。
- 濃く : 濃く読み取りたいときに選択します。

1 コピー待機画面で、濃度を選択します。



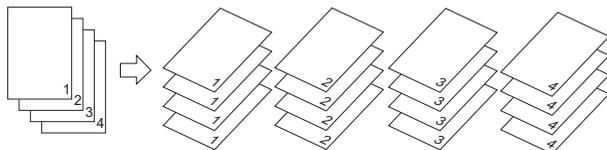
用紙を仕分けする（仕分け）

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。

A4とA4☑の用紙がセットされているときは、コピーを1部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。

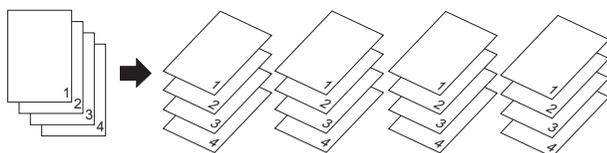
ノンソート

原稿のページごとに用紙を仕分けします。



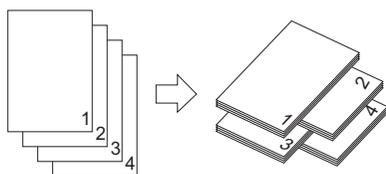
ソート

1部ごとに用紙を仕分けします。



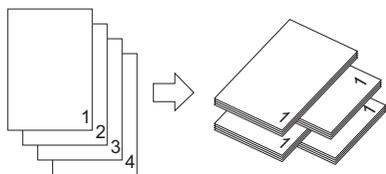
ノンソート + 回転仕分け（A4とA4☑がセットされているとき）

同じサイズの下紙をセットした場合、ページごとに向きを変えて仕分けします。



ソート + 回転仕分け（A4とA4☑がセットされているとき）

同じサイズの下紙をセットした場合、1部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。



☑補足

- 回転仕分けをするのは、A4とA4☑用紙がセットされている場合で、その用紙を使ってコピーするときだけです。
- V-780で回転仕分けをするときは、オプションの給紙ユニットの装着が必要です。
- 回転仕分けを設定するには、〈メニュー〉→[機器設定]タブ→[用紙/仕分け]→[回転仕分け]→「コピー部ごと」の順に押します。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「用紙に関する設定をする」を参照してください。

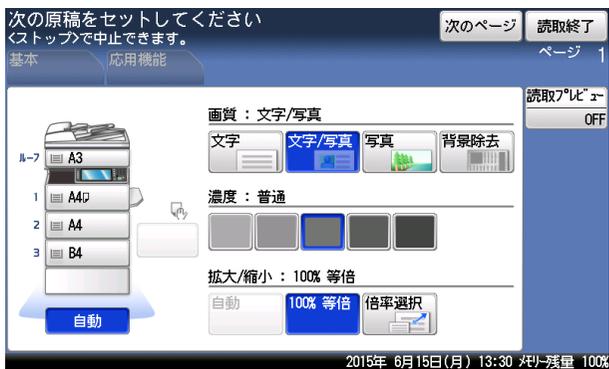
1 コピー待機画面で、[仕分け] を押します。



- ・ [仕分け] を押すたびに、[ソート] と [ノンソート] が切り替わります。
- ・ [仕分け] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[仕分け] を選択してください。
- ・ MF-X-5180 ではソートを選択すると、原稿ガラスでの連続読み込みが自動で ON に設定されます。

補足

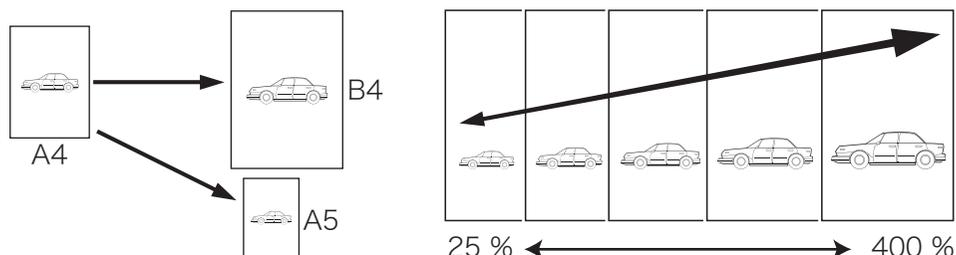
- ・ ソートを選択して原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または [スタート] を押します。



- ・ 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）

拡大／縮小コピーには、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法（自動倍率）と、倍率を設定して拡大／縮小する方法（固定倍率）があります。固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法があります。



□ 用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率）

指定した用紙サイズに合わせて自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーを行います。原稿サイズを自動検出できないときは、手動選択した原稿サイズで自動倍率にてコピーします。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から【自動】を押します。



□ 倍率を指定して拡大／縮小する（固定倍率）

倍率を選択して、適切な用紙にコピーを行います。

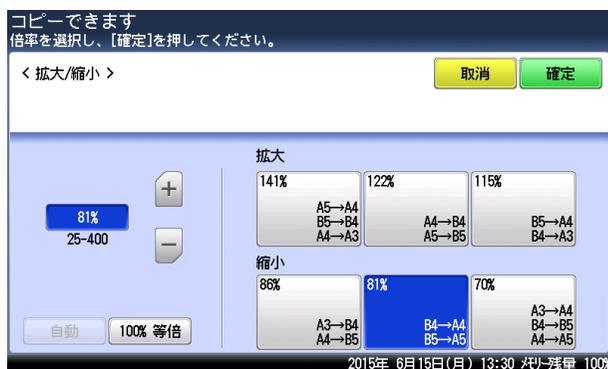
補足

- 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。
- 用紙は、倍率設定に応じて自動的に選択されます。用紙を選択したいときは、用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から [倍率選択] を押します。



2 倍率を選択し、[確定] を押します。



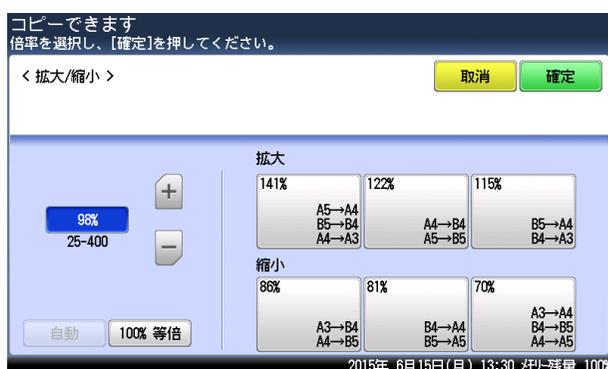
□ 任意の倍率でコピーする

倍率を25%～400%の範囲で、1%きざみで指定できます。

1 コピー待機画面で、「拡大/縮小」から【倍率選択】を押します。



2 倍率を設定し、【確定】を押します。



- ・[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。
- ・先に固定倍率を選択してから、倍率を調整することもできます。

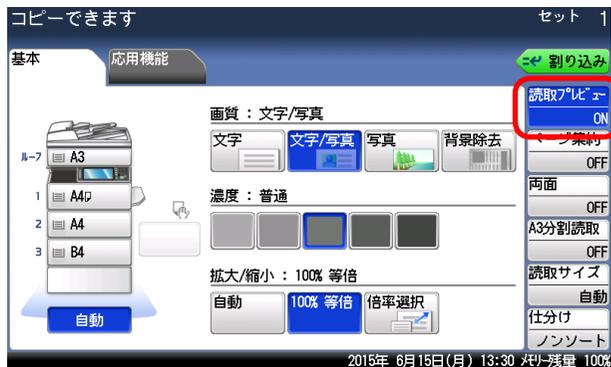
補足

適切なサイズの手紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して【確定】を押してください。V-780 でオプションの給紙ユニットが装着されていない場合は、セットされている用紙にコピーします。

コピー前にイメージを確認する（読取プレビュー）

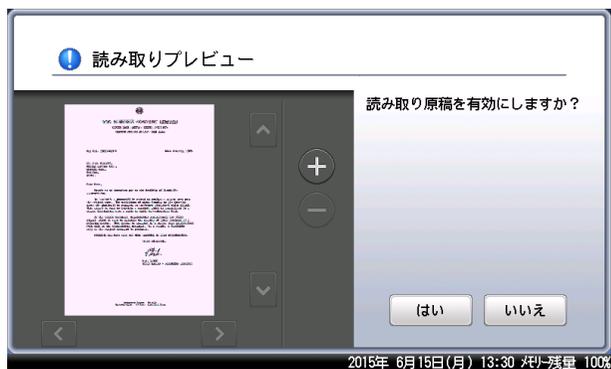
用紙にコピーする前に、タッチパネル上で読み取ったイメージを確認できます。

- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[読取プレビュー] を押します。



- ・[読取プレビュー] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[読み取りプレビュー] を選択してください。
- ・[読取プレビュー] を押すたびに、機能の ON と OFF が切り替わります。

- 3 〈スタート〉を押します。
- 4 イメージを確認します。



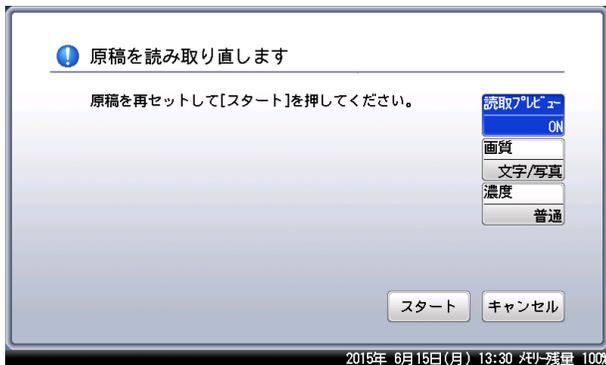
- ・原稿の 1 ページ目が表示されます。
- ・[+] を押すと、拡大して表示できます。[-] を押すと、元の表示に戻ります。
- ・[+] を押して拡大表示をしているときは、[<]、[>]、[↑]、[↓] を押すと、表示範囲を変更できます。

5 コピーを開始する場合は、[はい] を押します。

- ・やり直したい場合は、[いいえ]を押します。1枚目の原稿で[いいえ]を押した場合は、コピーが中止されます。
- ・自動原稿送り装置に原稿をセットしたときは、次のページを読み取って表示しますので、手順4から繰り返します。
- ・MFX-5180で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または〈スタート〉を押します。次のページを読み取って表示しますので、手順4から繰り返します。

補足

- ・2ページ目以降の原稿で [いいえ] を押したときは、次の画面が表示されます。読み取り直したいページをもう一度セットして、画質や濃度を変更し、[スタート] または〈スタート〉を押してください。



- ・[読取プレビュー] を押して、プレビュー機能を OFF にすると、次のページからはプレビューしません。

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする (ページ集約)

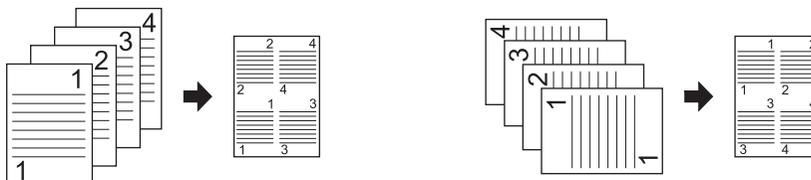
複数枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

2 枚、4 枚、8 枚のいずれかの原稿を 1 枚の用紙にコピーできます。

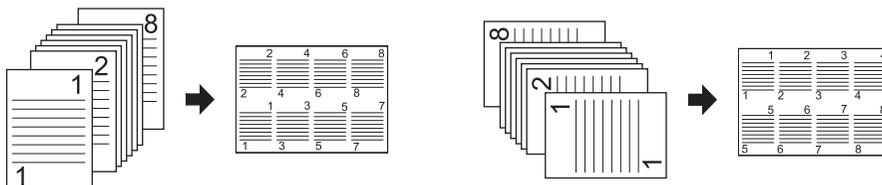
原稿 2 枚を 1 枚に



原稿 4 枚を 1 枚に



原稿 8 枚を 1 枚に



補足

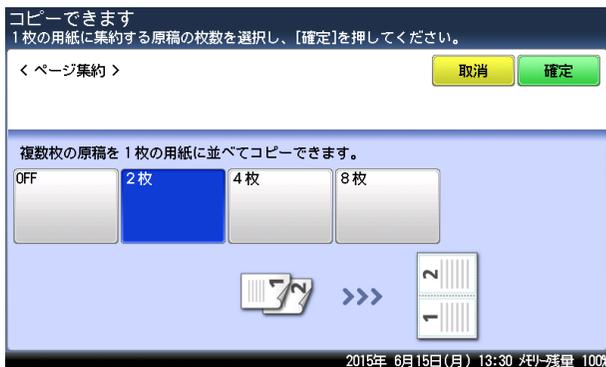
- ページ集約を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、ページ集約設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、ページ集約設定後に用紙を選択してください。
- 4 枚または 8 枚を集約する場合は、原稿のセット方向によって並び順が異なります (上図参照)。ただし、コピー倍率が自動以外のときや用紙の向きによっては、並び順が上図のようにならない場合があります (上図はコピー倍率が自動のときの例です)。

1 コピー待機画面で、[ページ集約] を押します。



[ページ集約] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[ページ集約] を選択してください。

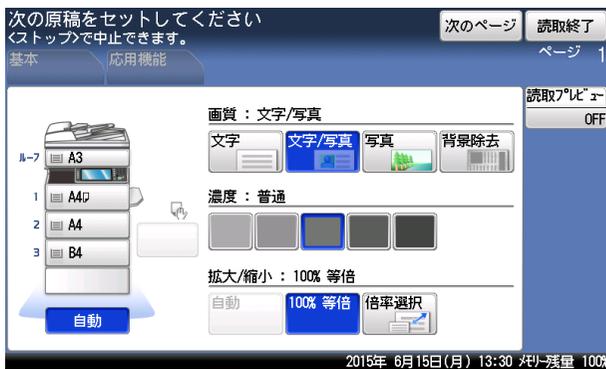
2 1枚の用紙に集約する原稿の枚数を選択し、[確定] を押します。



[OFF] を選択すると、ページ集約の設定が OFF になります。

補足

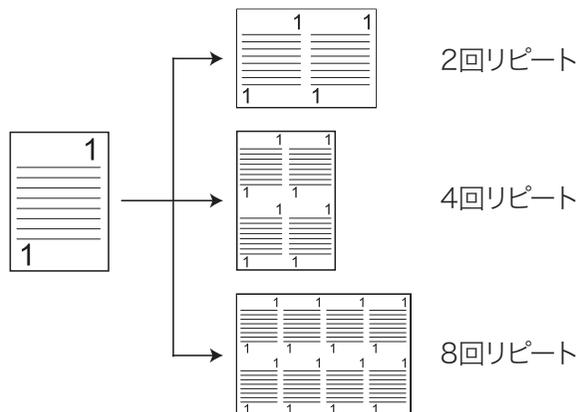
- MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または [スタート] を押します。



- 読み取りを終了するときには、[読取終了] を押します。

1 枚の用紙に繰り返しコピーする (リピート)

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2回、4回、8回より選択できます。

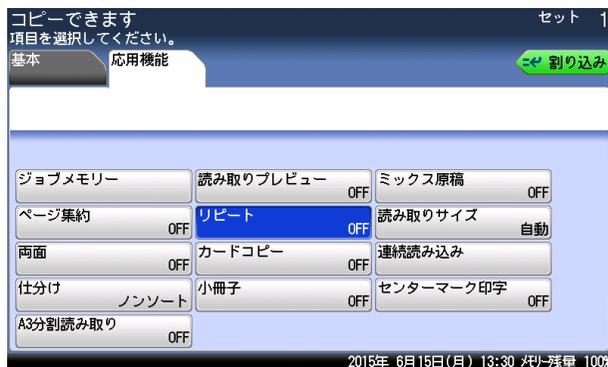


補足

- リピートコピーを設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、リピートコピー設定後に用紙を選択してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
V-780 では、コピー待機画面から [リピート] が選択できます。

2 [リピート] を押します。

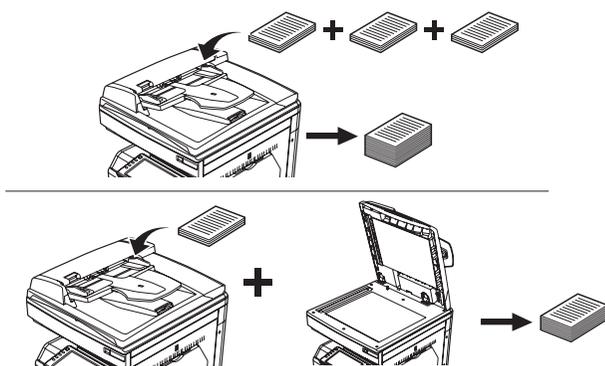


3 リピートする回数を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、リピートの設定が OFF になります。

4 必要に応じて、コピーする用紙を選択します。
用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）

原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。

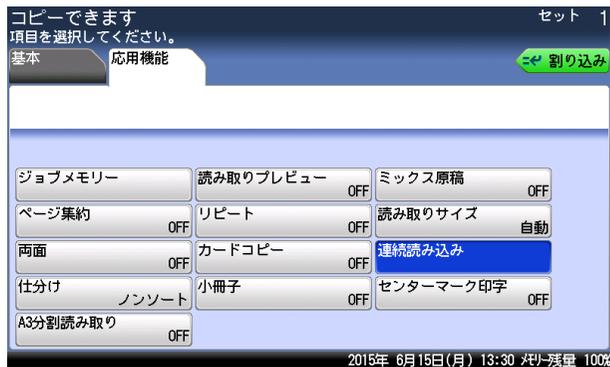


補足

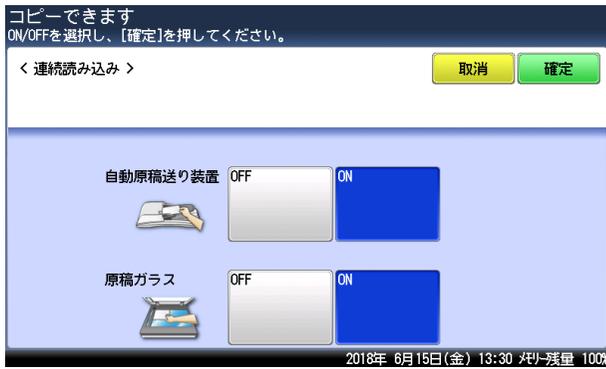
- V-780 には、原稿ガラスはありません。
- 設定する機能によっては、初期値の設定にかかわらず、原稿ガラスの連続読み込み設定が ON になります。

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
V-780 では、コピー待機画面から [連続読み込み] が選択できます。

2 [連続読み込み] を押します。



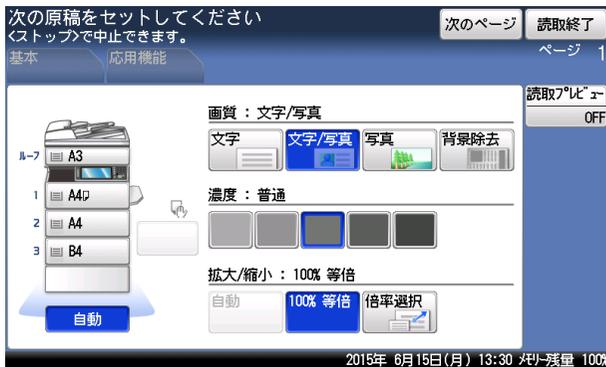
3 「ON」を選択し、[確定]を押します。



- ・ [OFF] を選択すると、連続読み込みの設定が OFF になります。
- ・ 設定は自動原稿送り装置と原稿ガラスで、個別に設定します。

補足

- ・ 連続読み込みを「ON」にしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または <スタート> を押します。
- ・ この画面が表示されているときに、画質、濃度、拡大/縮小、または読み取りプレビューの設定が変更できます。ただし、メモリー残量が少ないときは、読み取りプレビューの設定は変更できません。



- ・ 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

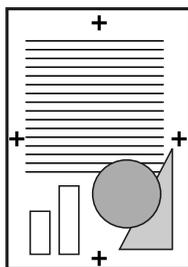
パンチの目印を付ける (センターマーク印字)

パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。

センターマークは、次のようにプリントされます：

- 用紙の1ページ目にだけプリントされます。
- 各辺の中心にプリントされます (合計4箇所)。
- 両面コピー (MFX-5180のみ) を設定したときは、おもて面にだけプリントされます。
- 用紙種類が「普通紙」の場合だけプリントされます。用紙種類をはがきや封筒にセットしたときは、プリントできません。

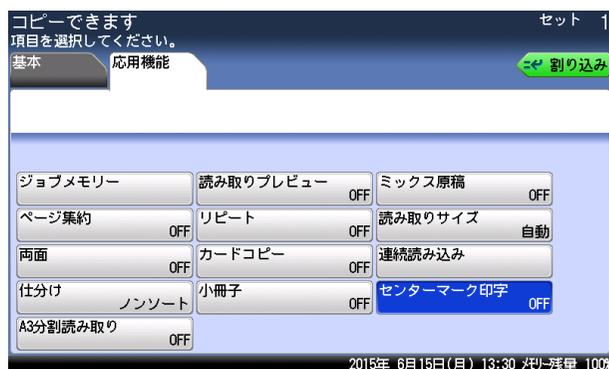
サンプル：



1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

V-780 では、コピー待機画面から [センターマーク印字] が選択できます。

2 [センターマーク印字] を押します。



3 [ON] を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、センターマーク印字の設定が OFF になります。

割り込んでコピーする

プリント中に割り込んで別の原稿をコピーできます。
割り込みコピー中は「コピー予約できます」と表示されます。

補足

以下の場合には割り込みコピーができません。

- 原稿読み取り中
- 機器設定の操作中

1 プリント中に【割り込み】を押します。

2 割り込んでコピーする原稿をセットします。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質 (→ 4-6 ページ) や濃度 (→ 4-7 ページ) を設定します。

3 〈スタート〉を押して、割り込みコピーを行います。

4 割り込みコピー終了後、【割り込み】を押します。

割り込む前の画面に戻ります。プリント中に割り込んだ場合は、中断したプリントが自動的に再開されます。

補足

画面自動リセット時間で設定した時間が経過すると、割り込みは自動的に解除されます。
画面自動リセット時間の詳細については『機器設定・管理編』第1章の「初期値を設定する」を参照してください。

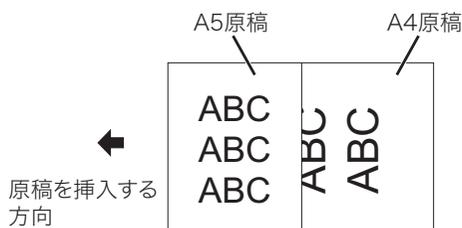
大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）

幅が同じで長さが違う原稿（たとえば A4 と A5 ）を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。

ミックスコピーが有効な原稿サイズの組み合わせは、A3 と A4 、A4 と A5 、または B4 と B5 です。

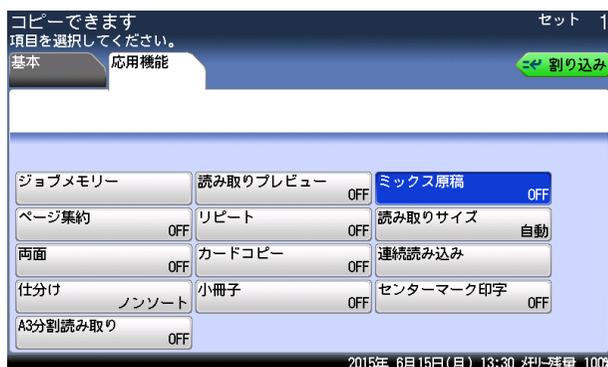
補足

- この機能は、V-780 では利用できません。
- それぞれの記録紙カセットに該当する用紙がセットされるときに使用できます。
- 原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。
- 以下のイメージのように、原稿の幅と先端をそろえてセットしてください。



1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [ミックス原稿] を押します。



3 [ON] を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、ミックス原稿の設定が OFF になります。

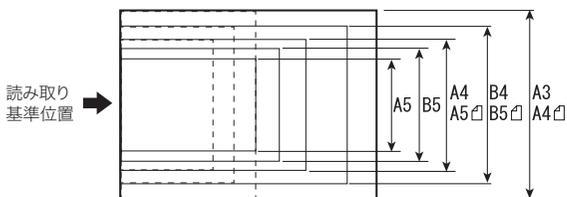
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。

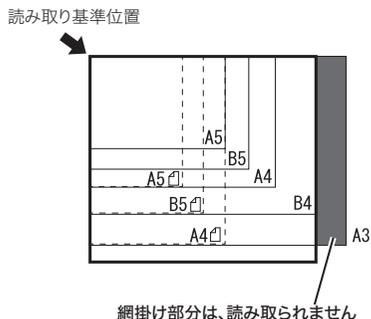
自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は、原稿の中心を基準に設定したサイズの幅で原稿の長さの分を読み取ります。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、セット基準位置から設定したサイズ分だけ読み取ります。原稿ガラスで本などをコピーするとき、原稿サイズを指定すると、コピーの外側に黒い影ができるのを防げます。

自動原稿送り装置



原稿ガラス



補足

- この機能は、V-780 では利用できません。
- 原稿ガラスに原稿をセットして、読み取りサイズで A3 を選択した場合は、上記イラストの網掛け部分は読み取られません。

1 コピー待機画面で、[読み取りサイズ] を押します。



[読み取りサイズ] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[読み取りサイズ] を選択してください。

2 コピーする原稿のサイズを選択し、[確定] を押します。

両面コピーする（両面）

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。

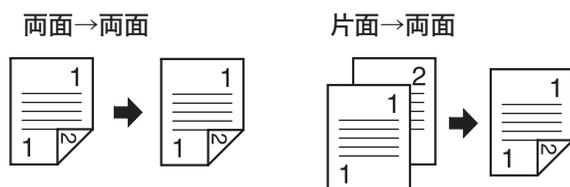
！お願い

両面コピーは定形サイズの普通紙にコピーしてください。不定形サイズを用紙や普通紙以外の用紙（厚紙やはがきなど）を使用した場合、用紙がつまる恐れがあります。

補足

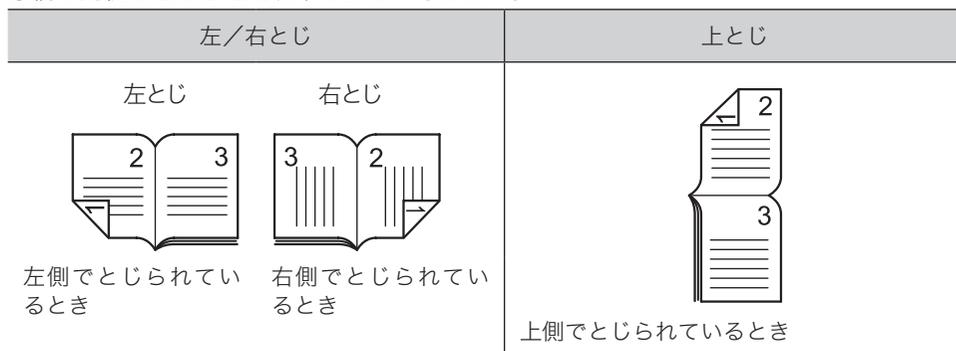
- この機能は、V-780 では利用できません。
- 両面コピーを設定すると、ソートが自動的に ON に設定されます。

両面コピーの種類



コピーのとじかたについて

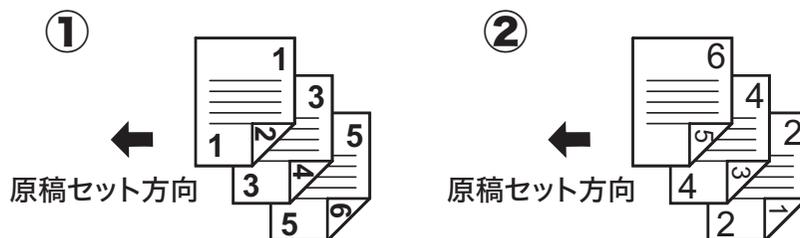
原稿や用紙のとじかたを以下のように呼びます。



両面原稿の読み取りについて

両面原稿の読み取りは、自動原稿送り装置で行います。

まず、原稿のおもて面を読み取ります。すべてのページの読み込みが終わったら、そのまま原稿のうら面をセットして、うら面の最終ページから読み込みます。



□ 両面原稿を両面コピーする

補足

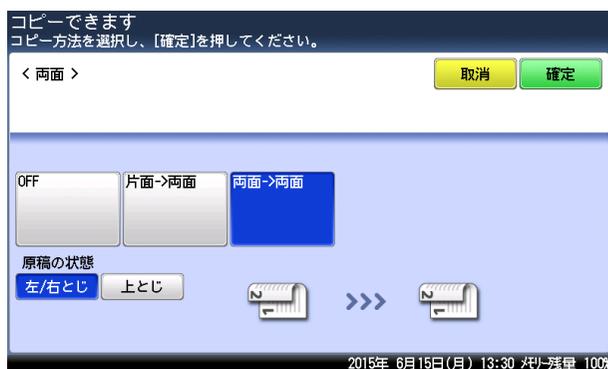
原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。

- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[両面] を押します。



[両面] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[両面] を選択してください。

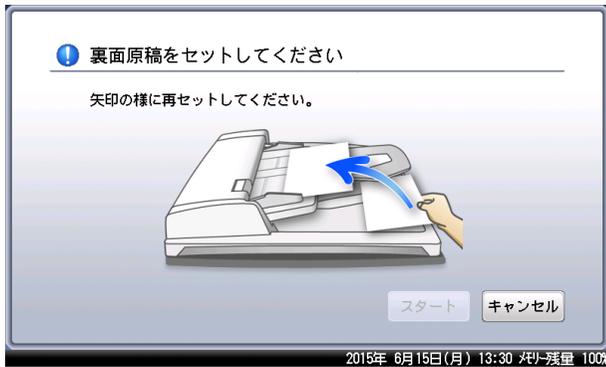
- 3 [両面→両面] を選択します。



[OFF] を選択すると、両面の設定が OFF になります。

- 4 [左/右とじ] または [上とじ] を選択します。
 - ・原稿のおもてとうらで、イメージの上下が同じ場合は、左右とじを選択します。
 - ・原稿のおもてとうらで、イメージの上下が逆の場合は、上とじを選択します。
- 5 [確定] を押します。
- 6 〈スタート〉を押します。

- 7 原稿のおもて面を読み取ったあとに「裏面原稿をセットしてください」と表示されます。原稿のうら面をセットして、[スタート] または 〈スタート〉 を押します。



読み取りを終了するときは、[キャンセル] を押します。

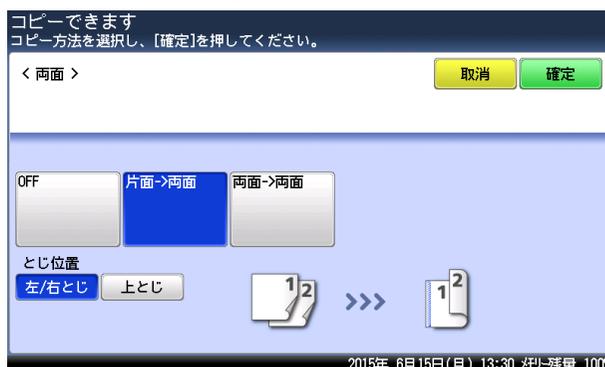
□ 片面原稿を両面コピーする

- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[両面] を押します。



[両面] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[両面] を選択してください。

- 3 [片面→両面] を選択します。



[OFF] を選択すると、両面の設定が OFF になります。

- 4 [左/右とじ] または [上とじ] を選択します。
 - ・コピーのおもてとうらで、イメージの上下を同じにする場合は、左右とじを選択します。
 - ・コピーのおもてとうらで、イメージの上下を逆にする場合は、上とじを選択します。
- 5 [確定] を押します。
- 6 〈スタート〉を押します。

小冊子になるようにコピーする（小冊子）

複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。
出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。

補足

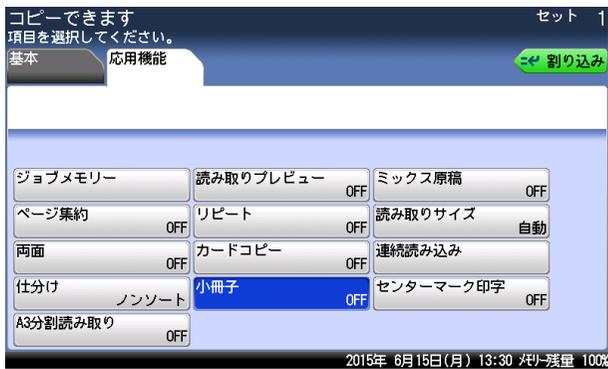
- この機能は、V-780 では利用できません。
- 原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。
- 小冊子を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、小冊子設定後に倍率を設定してください。

とじ位置と原稿のセット方法について

用紙の向きによって設定できるとじ位置が変わります。

設定	原稿のセット方法
左とじ	<p>原稿の挿入方向</p> <p>とじ位置</p> <p>コピー</p> <p>左開きの小冊子を作りたいとき、左とじを選択します。</p>
右とじ	<p>原稿の挿入方向</p> <p>とじ位置</p> <p>コピー</p> <p>右開きの小冊子を作りたいとき、右とじを選択します。</p>
上とじ	<p>原稿の挿入方向</p> <p>とじ位置</p> <p>コピー</p> <p>上開きの小冊子を作りたいとき、上とじを選択します。</p>

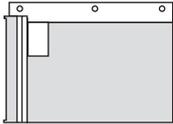
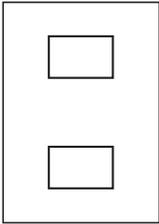
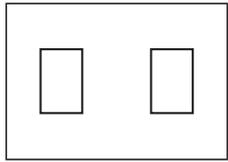
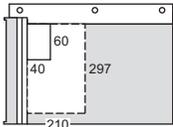
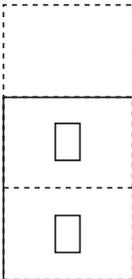
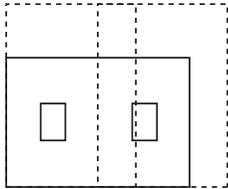
- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [小冊子] を押します。



- 3 とじ位置を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、小冊子の設定が OFF になります。

カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする(カードコピー)

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズのカードの両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

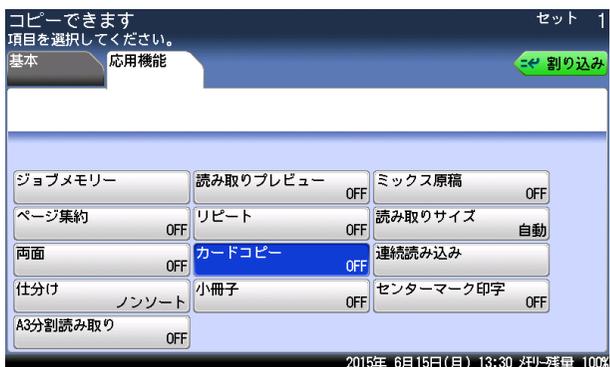
	セット方向	コピー結果 (A4 用紙、コピー倍率 100 % の場合)	
		<input type="checkbox"/> 用紙	用紙
名刺 縦 91 × 横 55 (mm)			
免許証 縦 86 × 横 54 (mm)			
不定形サイズ 縦：60 ～ 297 (mm) 横：40 ～ 210 (mm)			

補足

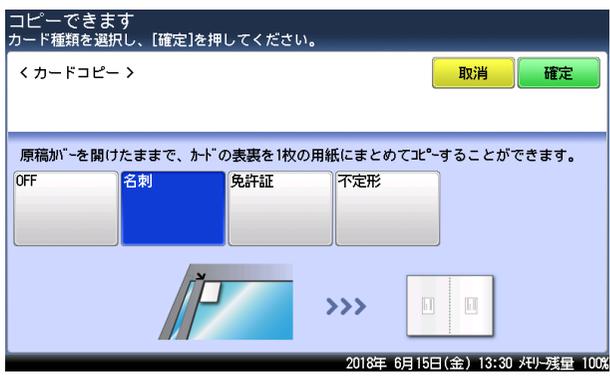
- この機能は、V-780 では利用できません。
- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- 原稿押さえカバーは開けたままで、コピーできます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を選択したいときは、カードコピーを設定したあとに、希望の用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。
- 設定や用紙の条件によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

3 [カードコピー] を押します。

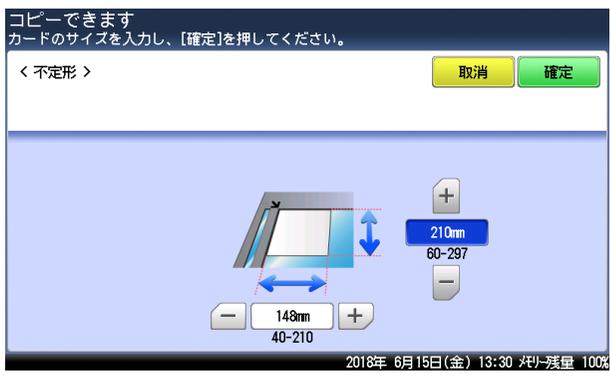


4 カードの種類を選択します。



- ・ [OFF] を選択すると、カードコピーの設定が OFF になります。
- ・ [名刺] または [免許証] を選択したときは、手順 6 に進みます。
- ・ [不定形] を選択したときは、次の手順に進みます。

5 カードのサイズを設定し、[確定] を押します。

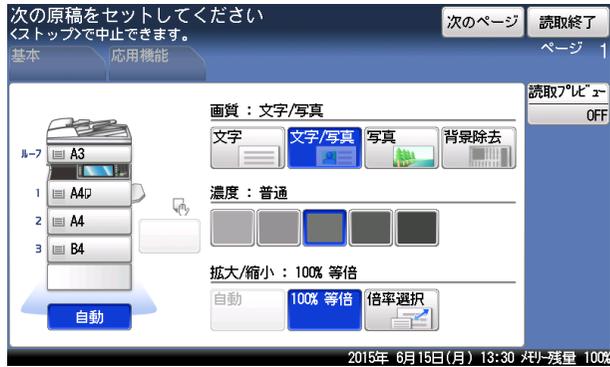


- ・ [+], または [-] を押して、カードのサイズを設定します。
- ・ テンキーでサイズを設定するときは、原稿サイズの入力ボックスを押してから値を入力してください。

6 [確定] を押します。

7 <スタート> を押します。

- 8 カードのおもて面を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。カードを裏返してセットして、[次のページ] を押します。



読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

A3 の原稿をコピーする (A3 分割読取)

A3 原稿を左右半分ずつ読み取って合成することにより、A3 原稿がコピーできます。

セット位置



セット位置



補足

- この機能は、V-780 では利用できません。
- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- A3 分割読み取りに使用できる用紙は、A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5 です。
- 倍率は、自動倍率に設定され、変更できません。
- ページ集約、リPEAT、小冊子、カードコピーとは同時に利用できません。

1 コピー待機画面で、[A3 分割読取] を押します。



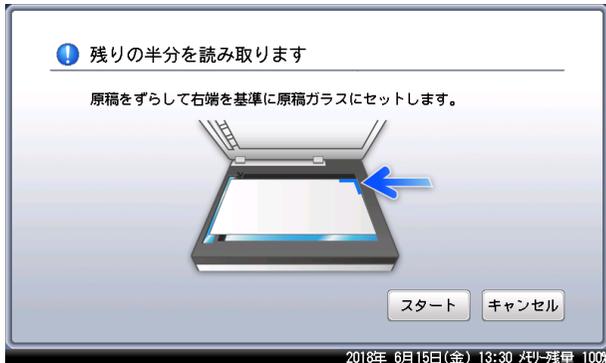
- [A3 分割読取] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[A3 分割読み取り] を選択してください。
- [A3 分割読取] を押すたびに、機能の ON と OFF が切り替わります。

2 原稿を原稿ガラスの左上を基準にしてセットします。

3 <スタート> を押します。

A3 原稿の半分が読み込まれます。

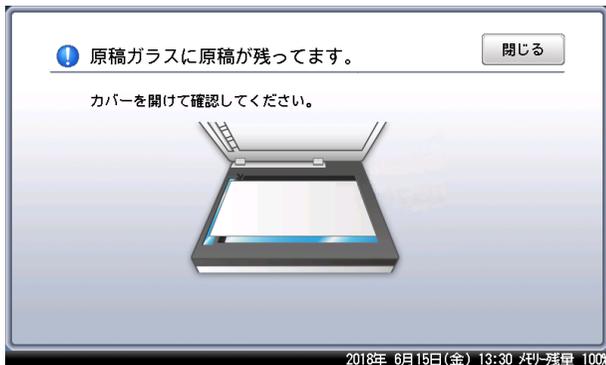
- 4 「残りの半分を読み取ります」と表示されたら、原稿をずらして原稿ガラスの右上を基準にセットします。



- 5 [スタート] または 〈スタート〉 を押します。

A3 原稿の残り半分が読み込まれます。

- 6 「原稿ガラスに原稿が残っています」と表示されたら、原稿ガラスから原稿を取り除きます。



- 7 続けて A3 分割読み取りをする場合は、手順 2 から手順 6 の操作を繰り返します。読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。



第5章

機器設定のしかた

初期値を設定する	5-2
コピー機能の初期値を設定する	5-2
初期値設定一覧	5-4
リポート区切り線幅を設定する	5-7
コピー予約を設定する	5-7

初期値を設定する

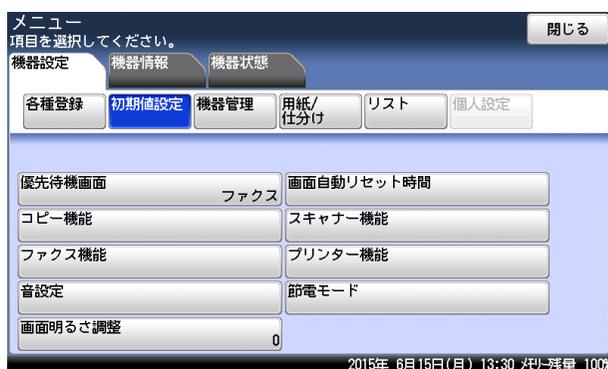
初期値とは、〈リセット〉を押したときに設定される値のことです。何も操作せずに一定時間放置したときも、初期値に戻ります。よく使う設定を初期値にしておく、操作のたびに設定する手間が省けます。

補足

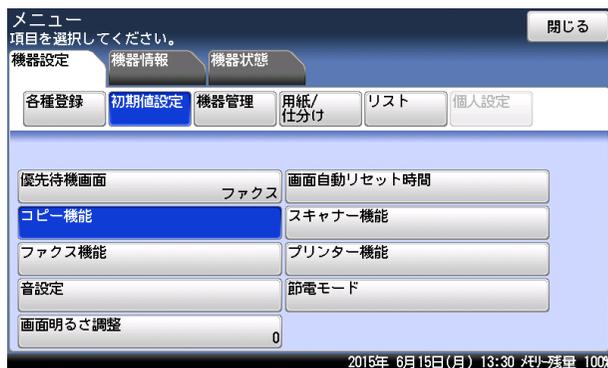
初期値に戻るまでの時間（画面自動リセット時間）を設定できます。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「初期値を設定する」を参照してください。

コピー機能の初期値を設定する

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[初期値設定] の順に押します。

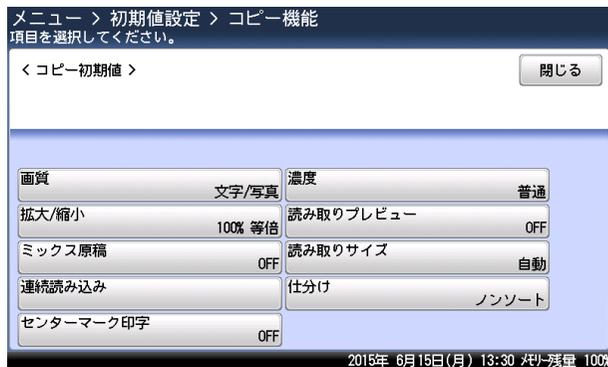


- 3 [コピー機能] を押します。



4 [コピー初期値] を押します。

5 設定したい機能を選択します。



6 初期値を選択し、[確定] を押します。

続けてほかの初期値を変更する場合は、手順 5 から操作を繰り返します。

7 [閉じる] を押します。

これで手順は終了です。

初期値設定一覧

設定方法は、「[コピー機能の初期値を設定する](#)」(5-2 ページ) を参照してください。

□ MFX-8230/MFX-8200/MFX-5185

機能	機能説明	設定値
画質	読み取り時の画質の初期値を設定します。	文字 文字／写真 写真 背景除去
濃度	読み取り時の濃度の初期値を設定します。	薄く やや薄く 普通 やや濃く 濃く
拡大／縮小	コピー倍率の初期値を設定します。	自動 100%等倍
仕上がりプレビュー	コピーのイメージをタッチパネル上で確認できます。	OFF ON
ミックス原稿	ミックス原稿読み取りの初期値を設定します。	OFF ON
読み取りサイズ	読み取りサイズの初期値を設定します。 よくコピーする原稿サイズを初期値に設定しておくと、設定の手間が省けます。	自動 A3 A4 A4 ☐ A5 A5 ☐ B4 B5 B5 ☐
連続読み込み	ON に設定すると、別々の原稿を続けて読み込んだあとに、1つの原稿としてコピーできます。	自動原稿送り装置 OFF、ON 原稿ガラス OFF、ON
仕分け	ソート機能の初期値を設定します。	ノンソート ソート
センターマーク印字	パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。	OFF 上 下 左 右
三つ折りマーク印字	コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。	OFF ON

☐補足

__の付いている値が、工場出荷時の設定です。

□ MFX-5180

機能	機能説明	設定値
画質	読み取り時の画質の初期値を設定します。	文字 文字／写真 写真 背景除去
濃度	読み取り時の濃度の初期値を設定します。	薄く やや薄く 普通 やや濃く 濃く
拡大／縮小	コピー倍率の初期値を設定します。	自動 100%等倍
読み取りプレビュー	読み取ったイメージをタッチパネル上で確認できます。	OFF ON
ミックス原稿	ミックス原稿読み取りの初期値を設定します。	OFF ON
読み取りサイズ	読み取りサイズの初期値を設定します。 よくコピーする原稿サイズを初期値に設定しておく と、設定の手間が省けます。	自動 A3 A4 A4 ☐ A5 A5 ☐ B4 B5 B5 ☐
連続読み込み	ON に設定すると、別々の原稿を続けて読み込んだ あとに、1つの原稿としてコピーできます。	自動原稿送り装置 OFF、ON 原稿ガラス OFF、ON
仕分け	ソート機能の初期値を設定します。	ノンソート ソート
センターマーク 印字	パンチを使用するときの目印になる「センターマ ーク」を付けて、コピーできます。	OFF ON

☞補足

__の付いている値が、工場出荷時の設定です。

□ V-780

機能	機能説明	設定値
画質	読み取り時の画質の初期値を設定します。	文字 文字／写真 写真 背景除去
濃度	読み取り時の濃度の初期値を設定します。	薄く やや薄く 普通 やや濃く 濃く
拡大／縮小 ^{*1}	コピー倍率の初期値を設定します。	自動 100%等倍
読み取りレビュー	読み取ったイメージをタッチパネル上で確認できます。	OFF ON
連続読み込み	ON に設定すると、別々の原稿を続けて読み込んだあとに、1つの原稿としてコピーできます。	OFF ON
仕分け	ソート機能の初期値を設定します。	ノンソート ソート
センターマーク印字	パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。	OFF ON

*1 オプションの給紙カセットが装着されていないときは、表示されません。

補足

__の付いている値が、工場出荷時の設定です。

□ V-785

機能	機能説明	設定値
画質	読み取り時の画質の初期値を設定します。	文字 文字／写真 写真 背景除去
濃度	読み取り時の濃度の初期値を設定します。	薄く やや薄く 普通 やや濃く 濃く
拡大／縮小 ^{*1}	コピー倍率の初期値を設定します。	自動 100%等倍
仕上がりレビュー	コピーのイメージをタッチパネル上で確認できます。	OFF ON
ミックス原稿	ミックス原稿読み取りの初期値を設定します。	OFF ON
連続読み込み	ON に設定すると、別々の原稿を続けて読み込んだあとに、1つの原稿としてコピーできます。	OFF ON
仕分け	ソート機能の初期値を設定します。	ノンソート ソート
センターマーク印字	パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。	OFF 上、下、左、右
三つ折りマーク印字	コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。	OFF ON

*1 オプションの給紙カセットが装着されていないときは、表示されません。

補足

__の付いている値が、工場出荷時の設定です。

リピート区切り線幅を設定する

リピートコピーの区切り線幅の初期値を設定できます。

補足

この機能は、MFX-5185 および V-785 のみ設定可能です。

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[初期値設定] の順に押します。
- 3 [コピー機能] を押します。
- 4 [その他の設定] を押します。
- 5 [リピート区切り線幅] を押します。
- 6 線幅を設定し、[確定] を押します。
0.1~0.9 mm の範囲で設定できます。
- 7 [閉じる] を押します。

コピー予約を設定する

コピー予約を ON にすると、コピーの印刷中に次の原稿を読み取ることができます。
予約できる件数は 10 件です。

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[初期値設定] の順に押します。
- 3 [コピー機能] を押します。
- 4 [その他の設定] を押します。
- 5 [コピー予約] を押します。
- 6 [ON] を選択し、[確定] を押します。
- 7 [閉じる] を押します。

(空白ページ)

お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。